７．効果的な登山道の整備･管理に向けて

（１）登山道の整備･管理に係る課題

（２）山岳関係者等との連携･協力体制の現状

　１）山岳関係者との協力体制の現状

　２）登山道整備技術の普及や共同作業

　３）順応的管理を進める取り組み

（３）登山道整備･管理の今後の方向性

（１）登山道の整備･管理に係る課題

①登山道管理水準（保全対策ランク・利用体験ランク）に応じた保全修復技術の開発・改善が必要

大雪山にふさわしい登山道の保全修復を行うためには、調査、設計、施工、維持管理のすべての段階において、さらなる知見の蓄積と技術力の向上が重要である。大雪山で行われてきた保全修復の方法は未だ確立された技術ではなく、保全の必要性が高い箇所や自然景観上重要な箇所においては、自然への影響に配慮した必要最小限の整備が求められることから、施工後には点検・検証を行い、保全修復技術の開発・改善を行う必要がある。

②整備・管理を効果的に進めるための山岳関係者との意見交換の場が必要

「自然環境の保全」、「登山体験の質の維持」、「登山道機能の維持・創出」の３つの視点からの課題について、登山道管理水準に則して対応するため、特に保全修復作業の規模が大きくなる公共工事や複数の山岳関係者が合同で実施する保全修復作業、ルート変更を伴う保全修復作業については、その計画内容や選定する資材等について広く山岳関係者間での意見交換を行うことが望ましい。なお、前項の保全修復技術の開発・改善を進めるための点検・検証を行う際にも山岳関係者間で情報共有や意見交換を行うことで、より効果的な整備・管理方策の実現に寄与することが期待できる。

また、大雪山国立公園内の総延長 300㎞に及ぶ登山道の適切な管理を継続していくために､山岳関係者の構成員の高齢化や地方における人口減少といった課題に対して、より広く協力を募り、地域内外の多様な主体との協力・連携を進められる体制の充実を図ることが必要である。

③山岳関係者に対する保全修復・補修技術の普及が必要

登山道の保全修復については、軽微な荒廃の段階ですみやかに順応的な修復・補修を行うことが自然環境保全の観点からも望ましい。日常的な点検補修や、共同作業での作業指導等において登山道の保全修復の技術が活かせるよう広く技術の普及を進める必要がある。

保全修復・補修技術の普及には、わかりやすい技術マニュアル・作業マニュアルや作業手順を学ぶ事ができる技術講習会が必要とされる。平成 24 年３月には「大雪山国立公園登山道協働型作業教本」が作られ、平成 24 年８月から「整備技術講習会」が開催されている｡今後も山岳関係者や一般登山者に対する技術の伝承や普及を図るため、これらの更新と充実が期待される。

（２）山岳関係者等との連携･協力体制の現状

１）山岳関係者との協力体制の現状

各地区においては、登山道維持管理協議会等の定期的な会合が行われ、管内の登山道の整備・管理方針について意見交換を行いながら登山道の保全を進めている。

また、環境省北海道地方環境事務所では、地域横断的に山岳関係者が登山道の現状や課題について情報共有する場として山岳関係者による情報交換会を、夏山シーズン前後の年２回開催している。

＜定期的な会合　～事例１：山岳関係者による情報交換会＞

登山道の維持管理に携わる地域横断的な山岳関係者が、登山道の現状や課題について情報共有を行う場として、平成 23 年６月１日から開催され、年２回、表大雪地域と東大雪地域の山岳関係者がそれぞれ一堂に会し、課題解決に向けた情報交換を行っている。

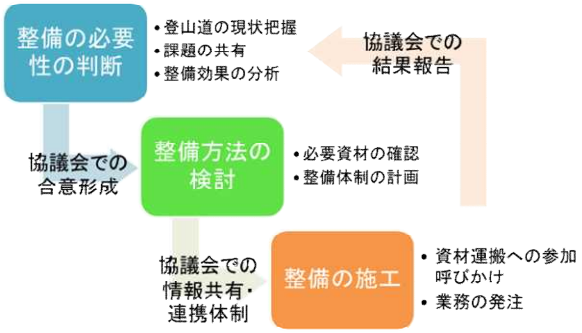
山岳関係者による情報交換会

各機関・団体の年間活動計画及び活動結果の報告を行うとともに、登山道にかかる課題に関して広く共有を図り、課題解決に向けた意見交換・調整の場となっている。

＜定期的な会合　～事例２：新得地区登山道維持管理連絡協議会～＞

新得町役場が事務局の当協議会では、トムラウシ山登山道の今後の整備方針を話し合うべく総会を年１～２回開催している。総会では、泥濘箇所における整備の進捗状況と課題の共有や今後の方針検討、ササ刈り等の維持管理作業の情報共有を主に行う。また、協議会が積極的に資材運搬作業への参加を呼びかけることにより、山岳関係者や一般登山者などが集まり、人材不足の解消に繋がっている。

登山道修復・補修に必要な木材の荷揚げ



協議会での計画・実施のフロー

＜定期的な会合　～事例３：上川地区山岳パトロール合同ミーティング～＞

上川地区では、環境省、林野庁、北海道、上川町、維持管理連絡協議会等が協力して、登山道の維持管理を行っている。平成 27 年度のシーズン終了時に維持管理作業の１年の振り返りを行い、今後の課題の共有と維持管理作業の考えの統一化を図るための合同ミーティングが開催された。

この合同ミーティングにおいて、登山道の刈払い、マーキング、ロープ柵の手法についての意見交換が行われ、次年度以降の維持管理の考え方と手法が整理され、組織横断的に相互協力のもと整備を行うべき箇所の抽出等をおこなっている。

上川地区山岳パトロール合同ミーティング

実 施 日：平成 27 年 10 月 16 日　14:00～16:00

場　　所：上川森林事務所　詰所

参加団体:上川自然保護官事務所（自然保護官、アクティブレンジャー）、上川中部森林管理署、上川・大函森林事務所（森林官、グリーンサポートスタッフ）、北海道上川総合振興局（山岳主査、自然保護監視員）、上川町（産業経済課）、上川地区登山道等維持管理連絡協議会（自然保護巡視員、白雲岳避難小屋管理人）、ヒグマ情報センター、北海道山岳整備

討議項目：登山道の管理方法に関する意見交換等

主な成果：**[刈り払い]**

標準幅：幅 1.5m（ササ地は上空に開いて刈る）

標準頻度：3～5 年に 1 度機械刈り、中間は手刈り

ただし、ササ区間の長い大雪山グレード 1,2 は 2 年に 1 回機械刈り

[ロープ柵]

仕様：平成 28 年度より 3㎜ の緑の園芸ロープに試験的に切替

[マーキング]

色：黄色に統一（立入禁止は赤×も可）

頻度：過度なマーキングは避け、道迷いしやすい岩稜帯に 10m毎くらい

合同ミーティング(2015.10)

２）登山道整備技術の普及や共同作業

大雪山国立公園では、相互研鑽のための研修会の実施や地域横断的な相互協力の保全修復活動が進みつつある。

登山道整備技術講習会

＜登山道整備技術講習会＞

年に数回、山岳関係者を対象とした、登山道整備技術講習会が各地で行われている。

整備技術の共有とレベルアップを目的とする。

登山道整備ツアー

＜登山道整備ツアー＞

一般登山者を対象としガイドが引率する整備ツアーが行われている。

山が好きな登山者は景観保全や登山道の維持管理にも協力的で進んで作業を行なっている。

荷揚げ登山

＜協働型による荷揚げ＞

作業を行う上で、資材は不可欠である。しかし、一団体で多量の資材を運搬することは難しいため、関係者や一般登山者に呼びかけ協力してもらい負担を減らすことができる。協力者は全道にわたっている。

３）順応的管理を進める取り組み

登山道保全修復の技術の改良や技術を扱う山岳関係者のレベルアップを目的として、大雪山国立公園では、PDCA サイクルによる施工結果の検証と評価、改良工法の試行の取り組みが進められており、各登山道で順応的管理の仕組みを取り入れることが望まれる。

＜PDCA の実践　～事例１：美瑛富士登山道補修セミナー～＞

大雪山国立公園連絡協議会では、年間３～５回の講習会を実施している。平成 27 年８月 30 日には、美瑛富士登山道の水無沢川源頭上部歩道にて、前年度に設置した土留めやステップの設置後１年の評価を行い、その評価を元に改善のための補修作業を行った。

計画（Ｐ）と実行（Ｄ）

平成 26 年８月 17 日に協働型取り組みによる登山道維持補修資材の荷揚げ作業が実施され、踏圧や流水の影響で土壌が削られてしまった箇所の歩行の安定化のため「土留め」や「ステップ」を整備した。

補修作業実施直後　美瑛富士登山道（2014.8）

評価（Ｃ）

平成 27 年８月 13 日に美瑛山岳会、北海道山岳整備、東川自然保護官事務所で、現地確認を行ったところ、８月初旬から中旬の豪雨による流水で、施工箇所は壊れ、土留めの機能が果たされていないことが確認された。

施工１年後点検　美瑛富士登山道（2015.8）

改善（A）

平成 27 年８月 30 日に北海道山岳整備岡崎氏を講師に、美瑛山岳会、旭川山岳会、旭川勤労者山岳会、道央地区勤労者山岳連盟、黒松内銀竜草の会、大雪山自然学校、北海道大学大学院、上川中部森林管理署ほか 13 名が参加し、前年度に設置した土留め等の検証・評価を現場で行い、改善のための指導を受けて補修作業を実施した。

検証・評価

昨年度施工箇所のほとんどにおいて、流水による土砂流出による土留め、ステップの破損が見られた。原因としては、登山道上に流れる水の量が多いことが上げられる。昨年度と同様の施工を行っても、再び流水により崩される恐れが高い。

改善案

原因に応じ、現場の状況・調達できる資材を元に最低限の整備を行う。

流水による侵食 → 水量を減らす → 分散排水 → **遮蔽型導流工**
越流型導流工
溝切型排水工

導流工により登山道外に排水することで、登山道内の流水を減らし侵食を弱める。

登山道補修セミナー　美瑛富士登山道（2015.8）

＜PDCA の実践　～事例２：登山道補修ノートによる記録～＞

大雪山国立公園においては平成 17 年に作成した技術指針にて登山道カルテの様式を作成したが、詳細に記述しなければならない項目が多く、一部業務の他は活用が進まなかった。

登山道の保全修復技術の確立・改善に向け PDCA サイクルを進めるためには、施工前後の経過の把握と比較検証が必要であり、協働型の取り組みによる保全修復活動が進む中で、記録の取りまとめが重要になっている。記録を取ることは、事前調査や準備、荷上げ、現場の施工と同様に重要であり、複数の山岳関係者が合同で行う保全修復作業等の規模が大きくなる作業では、専属の記録係を配置するなどして、施工前後の記録を取ることが望ましい。

登山道整備技術指針の改定にあたり、山岳関係者情報交換会の場で施工例や経過報告の様式として活用することを想定し、Ⅱ．解説事例編の形式を参考とした新たな「登山道補修ノート」の様式を作成した。（補足資料（３）登山道補修ノート様式）

以下平成 27 年 7 月に三者主催（北海道上川総合振興局、上川自然保護官事務所、上川中部森林管理署）で実施した雲の平地区登山道補修作業の経過報告を例として掲載する。

参考例：平成 27 年 7 月 26 日雲ノ平の施工

登山道補修ノート

備考

修復路線／地点：雲の平　保全対策ランク　B　利用体験ランク／大雪山グレード　3

修復目標：
・隣接するお花畑（チングルマ）への土砂流入を防ぐ
・既存の土留めの補修を行い、路体の安定をはかる

記録日：2015年7月16日
作業日：——

調査箇所
黒岳石室～御鉢展望台間の通称雲の平

荒廃状況・施工前（2015.7.16）

木板の土留めがこわれ、土のうも機能していない。

木板土留めの補修を行い土のうで水たまり部や木板脇の侵食が進まぬよう保ごする。

記録者：天人峡子（国立公園パークボランティア）

1-165

登山道補修ノート

備考

修復路線／地点：雲の平　保全対策ランク　B　利用体験ランク／大雪山グレード　3

修復目標：
・隣接するお花畑（チングルマ）への土砂流入を防ぐ
・既存の土留めの補修を行い、路体の安定をはかる

記録日：2015年8月26日
作業日：2015年7月26日

<施工後（7月）>

仕切りが悪い場所から底部より土砂流出がみられる。
→裏ごめのやし繊維を追加し補修した。

段差が大きく、越流時に侵食が進んでしまう。
→段を増やすかたたきの土のうを追加する必要有。

土留めの下流部にたまった土砂を施工時に流用したため地面が低下した箇所に水が流れ、侵食が進んだ
→下流部の土留めも必要。

記録者：天人峡子（国立公園パークボランティア）

1-166

（３）登山道整備･管理の今後の方向性

奥深く原生的な大雪山にふさわしい登山道を継承するという目標に向け、PDCA サイクルに則った保全修復を行い、持続可能な登山道の維持管理を進めることが重要である。PDCA サイクルの各段階や維持管理体制の検討において、山岳関係者との情報共有や協力体制の強化や、山岳関係者の修復技術の共有や向上が不可欠となる。

そこで、今後より効果的な保全修復･維持管理を進めるため、次の方向性を模索する。

①山岳関係者間の連携・協力体制の充実

新得地区・上川地区の例にあるような地区単位の登山道維持管理協議会が設置されている登山道と、まだ設置されていない登山道とがある。各登山道の維持管理の実情と課題を整理し、地区の実情に合った定期的な会合の設置を検討する。

また、環境省では表大雪、東大雪の地域単位で山岳関係者による情報交換会を毎年２回程度開催し、各登山道にかかる意見交換の場を設けている。今後も継続的、定期的に開催することとする。

②一般登山者や企業による協力を受け入れる体制づくり

大雪山の登山道は、原生的な山岳景観の中で豊かな自然体験を享受できるため、地域内外に大雪山の自然や登山を愛するファンが存在する。そのような地域内外からの協力者や企業による支援を各地域で受け入れることができるような体制づくりを行う。

③保全修復の効果検証及び方策改善の強化

これまで各主体が保全修復を進めてきているが、その効果検証による方策の改善や他事例への応用が十分に行われてこなかった。今後は美瑛富士の例にあるような、保全目標の達成程度を検証し、課題抽出や改善・補修手法を検討・実践・共有する取り組みを登山道毎に増やしていくとともに、登山道補修ノート活用の試行を進め、SNS の活用等、簡易で簡便な報告方法の検討を行い、保全修復事例の収集と応用に努める。

補足資料

（１）登山道管理水準等の見直し経過
（２）登山道管理水準適用表及び分割図
（３）登山道補修ノート様式

（１）登山道管理水準等の見直し経過

１）登山道管理水準とは

「登山道管理水準」とは、大雪山国立公園の利用の中心施設である、登山道の管理のあり方を定めたものである。自然環境と奥深い雰囲気を保全し、利用の確保と安全性の向上を図ることが目的であり、登山道を一元的に管理するのではなく、大雪山特有の自然条件、利用状況を勘案し、登山道の区間ごとに、それぞれの特性に応じて管理のやり方（管理のレベル）を定めている。管理水準は、実施状況をモニタリングし、順次見直を行う。－大雪山国立公園登山道管理水準（平成17年度版の解説より）

２）大雪山国立公園登山道管理水準（平成 17 年度版）の策定背景と策定後の成果と課題

ａ．管理水準・整備技術指針の策定背景

・1990 年代に入り百名山ブーム、中高年登山ブーム、ツアー登山の増加等により、日本の国立公園で登山道の侵食や植生荒廃が顕著になり、中高年登山者や未熟な登山者の増加による遭難事故の多発が見られた。

・平成 10 年に中部山岳国立公園立山室堂にて行われた登山道整備等において過剰整備を指摘されるようになり、山岳地における登山道整備のあり方の整理が必要とされた。

・平成 11 年度～平成 13 年度に環境省では「国立・国定公園における登山道のあり方検討会」を行い、登山道の適切な整備水準や維持管理のあり方、登山者の自己責任の範囲、山岳関係者の連携協力の可能性などについて話し合い、今後の登山道のあるべき姿をまとめた。管理水準としては、概ねルートの難易度に応じ３段階の登山道レベルが提示された。また、この検討時のケーススタディとして愛山渓地区での石組等による試験施工が実施された。

・大雪山国立公園では平成 13 年度から平成 15 年度にかけて全路線を対象に登山道現況調査を実施し、平成 14, 15 年度の２カ年をかけて、旭岳温泉付近と愛山渓付近をモデル地区・路線に設定し、①植物植生の現状や踏圧等による破壊、地形地質の現状や残雪状況、融雪による崩壊等といった自然要因に関する調査 ②登山者カウンターや入林届の集計、登山者アンケートといった利用要因に関する調査 ③路線特性を反映させるため、管理水準や路線の細分化といった検討を進めるなどし、３年余の検討及び試行を経て、平成 16 年度に「整備技術指針」、平成 17 年度に「登山道管理水準」を策定した。

ｂ．管理水準・整備技術指針の主な活用状況

・管理水準の内容は平成 19 年度改定の国立公園管理計画の取扱方針に反映された。

・管理水準の内容（保全対策の必要度合い）が国立公園整備計画に反映された。

・登山レベルの考え方が大雪山国立公園連絡協議会発行の登山マップに反映された。

・整備技術指針の整備・管理体制への提案が協働型管理の体制づくりに反映された。

・登山道カルテが作成され、登山道の荒廃箇所の抽出、荒廃原因の把握が進んだ。

・管理水準・整備技術指針の内容を解説した作業教本が作成された。
・整備技術の普及を目的とした関係団体との登山道整備技術講習会が開催された。

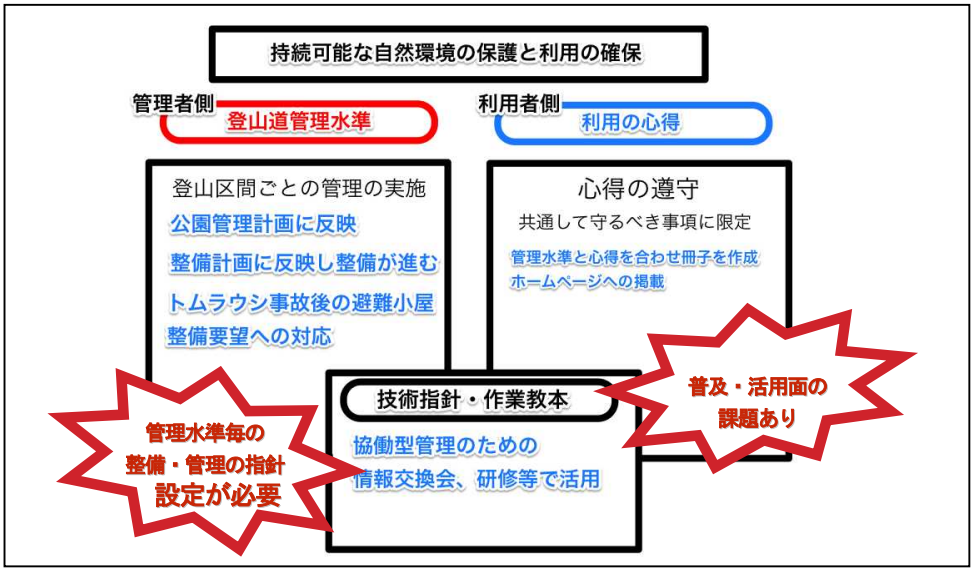
c．大雪山国立公園の登山道を取り巻く環境の変化（～平成 25 年）

・平成 16 年度の三位一体改革により国立公園内の自治体の整備に対する補助制度がなくなった。北海道・市町村による登山道整備が進まなくなった。
・国有林・道有林の現場スタッフやパトロールが少なくなり、土地所有者による登山道の管理できる範囲が狭まった。（平成 25 年時点で、土地所有者による登山道管理は上川地区の国有林内にほぼ限定される状況となった。国有林は上川地区、十勝岳地区に GSS を配置、道有林は旭岳のパトロールのみ）
・平成 21 年度から北海道地方環境事務所が主体となり、多様な山岳関係者の協働による登山道管理を進めるための枠組みづくりが模索され、平成 23 年度より登山道に関する関係者の情報交換・情報共有の場としての会議である表大雪・東大雪山岳関係者情報交換会が開催されるようになった。

d．管理水準・整備技術指針の主な成果・課題

登山道管理水準・整備技術指針が策定されたことにより「○」の成果があった一方で、「×」の項目に関し課題が取り残されている。（平成 25 年度第１回検討会での整理）

○トムラウシ遭難事故後の南沼避難小屋設置要望に対し、管理水準を元に対応できた。
○保全優先順位の高いルートの整備を実施する事ができた。（沼ノ平～裾合平、沼ノ原等）
○近自然工法に関する関係者・関係団体の認知が進んだ。
×登山の心得を含め一般登山者への周知が進んでいない。
×関係団体の管理水準等の認知度は４割程度、活用はわずか２団体となっている。
×原生自然の保全を図る水準設定の場所において迷い込み防止のペイントが過度にされたり、保全目的であるものの景観にそぐわないと評価される整備がなされたり、管理・整備のミスマッチが生じている箇所が見られる。



３）登山道管理水準・登山道整備技術指針の見直しの視点

管理水準・整備技術指針の見直しの視点ついて「大雪山国立公園登山道管理水準等検討会」を立ち上げる際に整理したものと平成25,26年度検討会で指摘された視点とは以下のとおりである。（検討会で指摘された視点は漢数字）

ａ．管理水準見直しの視点

①管理水準（平成17年度版）と現状に違和感がある区間に対するランクの見直し
②前回の検討では対象外でありつつも利用が多い路線への対応（三川台、トムラウシ短縮路等へのランク付けの可否）
③歩道通行止め（廃道、登山道の崩落、アクセスする林道の通行止め等）、管理者不在区間への対応（利用できない、管理できないルートはランク付けを行わない。一方で協働型管理ができる調整ができたところはランク付けをする。）
④利便性の変化による不整合への対応（登山道、林道通行止めによるアクセスの変化）
⑤野営指定地、避難小屋、トイレを含んでの評価
⑥荒廃の進行による不整合への対応（保全対策ランクの不整合への対応）
㋐一般普及への対応（登山者にとって分かりやすい設定、表現、表示とする。→利用体験ランクと保全対策ランクに分け、利用体験ランクを一般普及用に「大雪山グレード」と命名する。）

ｂ．整備技術指針見直しの視点

①管理水準と技術指針との対応
②ＡＩランクに対応する整備技術を検討し記載
③過剰整備にならない等、整備実施箇所の評価
④泥濘の取り扱い、対処方法の整理
⑤管理水準に対応したマーキングの仕方、刈払い方等の整理
⑥技術の伝承
㋑山岳関係者への普及（登山道を維持管理する関係者間で使いやすいものとする。）
㋒チェック機能、ＰＤＣＡサイクル

４）大雪山国立公園登山道管理水準等検討会の経過

平成17年度策定の登山道管理水準、平成16年度策定の登山道整備技術指針の改定作業は「大雪山国立公園登山道管理水準等検討会」で検討が進められた。登山道管理水準の見直しにあたっては、検討会の他、登山道管理に携わる各関係機関・団体との調整を経て案が作られ、パブリックコメントでの意見を受けて修正を行い、平成27年６月に改定された「大雪山国立公園登山道管理水準2015年版」としてまとめられた。検討・調整の経過は次頁の表のとおりである。

検討会等	年月日	主な検討項目	場　所
検討会（第１回）	平成 25 年 12 月 2 日	●検討の背景と基本情報について ●検討の進め方について ●管理水準等の見直しの視点について	札幌ＴＫＰ カンファレンス センター
検討会（第２回）	平成 26 年 1 月 27 日	●大雪山登山道のあるべき姿について ●管理水準の普及について ●管理水準の見直しについて	札幌ＴＫＰ カンファレンス センター
管理水準・作業部会（第１回）	平成 26 年 2 月 27 日	●現行管理水準で違和感のある箇所の抽出 ●発信を考えた保護・利用体験ランクの見直しについて ●大雪山登山道の魅力・大事にしてきたものについて	環境省 北海道地方 環境事務所
管理水準・作業部会（第２回）	平成 26 年 3 月 7 日	●管理水準ランク分け素案の作成作業	環境省 北海道地方 環境事務所
検討会（第３回）	平成 26 年 6 月 30 日	●技術水準作業部会の進め方について ●管理水準ランク分け素案について ●利用実態調査の実施について	北海道立道民 活動センター 「かでる２．７」
技術指針・作業部会（第１回） ※フィールドワーク① 技術指針・作業部会（第２回） ※フィールドワーク② 技術指針・作業部会（第３回） ※フィールドワーク③	平成 26 年 8 月 28 日 平成 26 年 8 月 29 日 平成 26 年 9 月 9 日	●現地調査 ●侵食等課題の確認 ●想定工法のアイデア出し	黒岳野営指定地 ～北海平 姿見(裾合平方面分岐) ～間宮岳中腹 トムラウシ 短縮口～新道
管理水準・作業部会（第３回）	平成 26 年 9 月 30 日	●利用実態調査結果について ●ランク分け（案）の検討	環境省 北海道地方 環境事務所
技術指針・作業部会（第４回）	平成 26 年 10 月 3 日	●フィールドワーク結果について ●整備技術指針の見直し必要箇所について （全体構成・内容）	環境省 北海道地方 環境事務所
関係者ヒアリング	平成 26 年 10 月 15 日 平成 26 年 10 月 16 日 平成 26 年 10 月 17 日 平成 26 年 10 月 24 日 平成 26 年 10 月 27 日 平成 26 年 10 月 27 日 平成 26 年 10 月 28 日 平成 26 年 10 月 29 日 平成 26 年 10 月 31 日 平成 26 年 11 月 11 日 平成 26 年 11 月 17 日 平成 26 年 11 月 17 日 平成 26 年 11 月 18 日 平成 26 年 11 月 19 日	○北海道森林管理局保全課 ○上川総合振興局上川南部森林室 ○上川町 ○上川中部森林管理署 ○上士幌町 ○新得町、新得山岳会 ○東大雪支署 ○上川地区登山道等維持管理連絡協議会 ○旭川山岳会 ○上川南部森林管理署 ○東川町 ○富良野市、富良野山岳会 ○上富良野町、上富良野山岳会 ○美瑛町、美瑛山岳会 ●ランク及びランクに応じた管理に関し意見交換	北海道森林管理局 上川総合振興局 上川町役場 上川中部森林管理署 上士幌町役場 新得町役場 東大雪支署 上川町役場 旭川山岳会 上川南部森林管理署 東川町役場 富良野市役所 上富良野町役場 美瑛町役場
普及・広報に関する意見交換会	平成 26 年 10 月 30 日	●普及、広報の対象について ●発信する内容について ●情報発信の効果的な方法について	札幌北口 カンファレンス プラザ
管理水準・作業部会（第４回）	平成 26 年 11 月 25 日	●ランク設定の考え方、登山道への適用について ●管理水準小冊子について	環境省 北海道地方 環境事務所
検討会（第４回）	平成 26 年 12 月 9 日	●管理水準の設定方法と登山道への適用について ●パブリックコメント用資料（案）、普及広報について ●技術指針（改定版）の全体構成について	札幌北口 カンファレンス プラザ
技術指針・作業部会（第５回）	平成 27 年 1 月 10 日	●技術指針（改定版）の内容について	札幌北口 カンファレンス プラザ
パブリックコメント	平成 27 年 1 月 26 日 ～ 平成 27 年 2 月 23 日	●13 通、102 件の意見	
管理水準・作業部会（第５回）	平成 27 年 3 月 2 日	●パブリックコメント意見への対応について	環境省 北海道地方 環境事務所
技術指針・作業部会（第６回）	平成 27 年 3 月 3 日	●技術指針（改定版）の内容について	環境省 北海道地方 環境事務所
検討会（第５回）	平成 27 年 3 月 24 日	●管理水準（改定版）について ●技術指針（改定版）について	札幌北口 カンファレンス プラザ

５）大雪山国立公園登山道管理水準 2015 年版の概要と今後の活用

パブリックコメントの結果や検討会でのまとめを経て「大雪山国立公園登山道管理水準 2015 年版」は平成 27 年６月 23 日に北海道地方環境事務所より公表された。新たに見直された管理水準の概要と今後の周知・活用について以下に示す。

ａ．新たな登山道管理水準の概要

・登山道管理水準は「大雪山グレード（利用体験ランク）」と「保全対策ランク」の２つから構成される。

・「大雪山グレード（利用体験ランク）」は、自然の厳しさや登山口からの距離などにより登山道の区間毎に変わる登山者の行動判断の要求度・難易度やその登山道の区間で得られる「原始性」、「静寂度」といった登山体験の程度を５段階で表現し、登山者に力量に応じた登山を推奨するために活用する。

・「大雪山グレード（利用体験ランク）」の５段階の設定に応じた登山道の保全修復や維持管理を行うことで、グレードに応じた登山体験の提供が図られる。

・「保全対策ランク」は、登山道の保全上の課題の程度について、保全の必要性の高い植生や地形の有無といった登山道整備や管理を行う上で留意すべき自然条件と登山道の侵食の深さ・集中度・進行の速度といった荒廃状況に応じて４段階で表現し、登山道を維持管理する関係者間で、保全管理の対象である登山道の情報を共有するために活用する。（必ずしも整備の優先順位付けでないことに留意すること。）

ｂ．「大雪山グレード」の周知と活用

・登山者の力量に応じた登山を推奨し、遭難事故の防止、登山利用の適正を図るために、「大雪山グレード（利用体験ランク）」を広く周知する。

・登山案内への掲載、広報資料への掲載など、一般広報の際には「大雪山グレード（利用体験ランク）」を簡潔に「大雪山グレード」と呼称し周知を図る。

・関係行政機関などと調整を図り「大雪山グレード」を示す登山案内板や指導標識の整備を順次進めたり、「大雪山グレード」のグレード別に色分けした登山地図の作成を進める。

（２）適用表及び分割図

大雪山グレード（利用体験ランク）　適用表（１）

地域	分割図	No	区　間	大雪山グレード（利用体験ランク）
Ⅰ北大雪地域	D01	No1	ニセイカウシュッペ山登山口⇒ニセイカウシュッペ山	グレード３
		No2-1	層雲峡園地⇒朝陽山	（グレード３）
		No2-2	パノラマ台分岐⇒パノラマ台	非適用
		No3	銀河流星ノ滝園地	グレード１
		No4	紅葉谷入口⇒紅葉滝	グレード１
Ⅱ表大雪地域	D02	No5-1	層雲峡黒岳林道口⇒黒岳（五合目園路を除く）	グレード２
		No5-2	黒岳⇒黒岳石室分岐	グレード３
		No5-3	黒岳石室分岐⇒桂月岳	グレード３
		No6-1	黒岳石室分岐⇒北海沢	グレード３
		No6-2	北海沢⇒北海岳分岐⇒間宮分岐	グレード４
		No6-3	黒岳石室分岐⇒お鉢平展望台	グレード３
		No6-4	お鉢平展望台⇒北鎮分岐⇒間宮分岐	グレード４
		No7	間宮分岐⇒旭岳	グレード４
		No8	姿見の池園地⇒旭岳	グレード３
		No9	愛山渓温泉雲井ヶ原入口⇒雲井ヶ原湿原	非適用
		No10-1	愛山渓温泉登山口⇒沼ノ平分岐	グレード２
		No10-2	三十三曲坂分岐⇒滝の上分岐	グレード３
		No11	愛山渓温泉登山口松仙園分岐⇒八島分岐	非適用
		No12-1	沼ノ平分岐⇒銀明水	グレード３
		No12-2	銀明水⇒北鎮分岐	グレード４
		NO12-3	愛別岳分岐⇒愛別岳	グレード４
		No13-1	沼ノ平分岐⇒六ノ沼	グレード２
		No13-2	六ノ沼⇒裾合平分岐	グレード３
		No13-3	裾合平分岐⇒姿見の池園地	グレード２
		No14	当麻乗越⇒安足間岳分岐	グレード４
		No15-1	裾合平分岐⇒中岳温泉	グレード３
		No15-2	中岳温泉⇒中岳分岐	グレード４
	D03	No16	姿見の池園地	グレード１
		No17	勇駒別園地⇒姿見の池園地	グレード２
		No18-1	勇駒別園地（見晴台コースを除く）	グレード１
		No18-2	見晴台コース	グレード２
		No19	天人峡旭岳温泉方面登山口⇒勇駒別園地	グレード３
		No20-1	天人峡羽衣･敷島の滝入口⇒羽衣の滝滝見場	（グレード１）
		No20-2	羽衣の滝滝見場⇒敷島の滝	非適用
Ⅲ高根ヶ原地域	D04	No21	北海岳分岐⇒白雲岳避難小屋分岐	グレード４
		No22	白雲岳避難小屋分岐⇒忠別岳	グレード５
		No23-1	銀泉台⇒第一花園	グレード２
		No23-2	第一花園⇒赤岳	グレード３
		No23-3	赤岳⇒白雲岳	グレード４
		No24-1	大雪高原温泉⇒第二花畑	グレード３
		No24-2	第二花畑⇒緑岳	グレード４
		No24-3	緑岳⇒小泉岳分岐 ⇒白雲岳避難小屋分岐	グレード４
		No25-1	大雪高原温泉⇒ヤンベ温泉分岐⇒緑の沼	グレード２
		No25-2	緑の沼⇒三笠新道分岐⇒ヤンベ温泉分岐	グレード３
		No25-3	三笠新道分岐⇒高根ヶ原分岐	グレード５（注）

大雪山グレード（利用体験ランク）　適用表（２）

地域	分割図	No	区　間	大雪山グレード（利用体験ランク）
Ⅳトムラウシ山系地域	D05 D06	No26	忠別岳⇒トムラウシ山	グレード５
		No27-1	トムラウシ山⇒オプタテシケ山	グレード５
		No27-2	台地ゲート⇒三川台	グレード５(注)
	D07	No28-1	天人峡化雲岳方面登山口⇒滝見台	グレード２
		No28-2	滝見台⇒化雲岳	グレード４
	D08	No29	クチャンベツ沼ノ原登山口⇒五色分岐	グレード４
	D06	No30-1	ヌプントムラウシ温泉登山口⇒石狩分岐	非適用
		No30-2	石狩分岐⇒沼ノ原分岐	グレード５
		No31-1	トムラウシ温泉登山口⇒前トム平	グレード４
		No31-2	前トム平⇒北沼分岐	グレード５
		No31-3	短縮コース登山口⇒温泉コース分岐	グレード４
		No32	霧吹ノ滝入口⇒霧吹ノ滝	非適用
Ⅴ十勝岳地域	D09 D10	No33	オプタテシケ山⇒十勝岳 ⇒美瑛富士	グレード４
		No34	十勝岳⇒富良野岳	グレード４
		No35	富良野岳⇒布札別登山口	グレード４
		No36	美瑛富士登山口⇒美瑛富士避難小屋分岐 ⇒美瑛富士避難小屋･オプタテシケ方面分岐	グレード３
		No37-0	白金温泉望岳台歩道口⇒望岳台	非適用
		No37-1	白金温泉ウグイス谷歩道口⇒望岳台	グレード２
		No37-2	望岳台⇒十勝岳	グレード３
		No38	雲ノ平分岐⇒美瑛富士分岐 ⇒十勝岳･美瑛富士分岐	グレード３
		No39-1	吹上温泉十勝岳方面登山口⇒白銀荘分岐 ⇒望岳台南分岐	グレード２
		No39-2	十勝岳温泉西分岐⇒十勝岳温泉吹上温泉方面口 ⇒旧国民宿舎	グレード２
		No40	吹上温泉三段山方面登山口⇒三段山分岐	グレード３
	D10	No41	十勝岳温泉登山口⇒上富良野岳 ⇒富良野岳肩分岐	グレード３
		No42	十勝岳新得登山口⇒新得コース分岐	グレード４
		No43-0	布札別登山口分岐⇒不動の滝入口との連絡部	非適用
		N043-1	不動の滝入口⇒勝竜ノ滝	グレード５
		No43-2	富良野岳分岐⇒勝竜ノ滝	グレード５
		No43-4	滝･沼コース分岐⇒五反沼	非適用

大雪山グレード（利用体験ランク）　適用表（３）

地域	分割図	No	区　間	大雪山グレード（利用体験ランク）
Ⅵ東大雪地域	D11	No44-1	ポンユニ石狩沢登山口⇒十石峠	非適用
		No44-2	十石峠⇒ユニ石狩岳	グレード３
		No45	ユニ石狩岳三股登山口⇒十石峠	グレード３
		No46	十石峠⇒シュナイダーの肩	グレード４
		No47-1	シュナイダー登山口⇒石狩岳	グレード４
		NO47-2	石狩岳⇒石狩分岐	グレード５
	D12	No48	十六ノ沢(杉沢)コース登山口⇒ニペソツ山	グレード４
		No49	幌加温泉登山口⇒前天狗岳分岐	非適用
	D13	No50	糠平コース新登山口⇒ウペペサンケ山西ピーク	グレード３
		No51-1	菅野温泉東コース登山口⇒菅野温泉東コース分岐	非適用
		No51-2	菅野温泉西コース登山口⇒ウペペサンケ山西ピーク	非適用
Ⅶ糠平然別地域	D14	No52-1	天宝山登山口⇒天宝山	グレード２
		No52-2	軌道跡トンネル⇒鉄道資料館	非適用
		No52-3	鉄道資料館⇒メトセップ	グレード１
	D15	No53	南ペトウトル山登山口⇒南ペトウトル山	グレード２
		No54	白雲山登山口⇒白雲山士幌高原登山口	グレード２
		No55-1	駒止湖入口⇒東ヌプカウシヌプリ登山口	グレード１
		No55-2	東ヌプカウシヌプリ登山口⇒東ヌプカウシヌプリ	グレード２
		No56	西ヌプカウシヌプリ登山口⇒西ヌプカウシヌプリ	グレード２

備　考	No2-1 （グレード３） －括弧付き－	現在、朝陽山付近はヤブが著しいなど一部区間通行止めとなっています。今後管理に当たり地域の協力も必要となるため『グレード３』を目指す意図で括弧付き『(グレード３)』です。
	No25-3 グレード５(注) －図中点線－	三笠新道分岐から高根ヶ原分岐の三笠新道は、ヒグマの採餌地を横断する道であることから、ヒグマとの軋轢防止のため、毎年ヒグマの定着が確認される７月初旬以降登山道を閉鎖しています。利用期間は例年６月中旬から７月初旬と極めて限定的で、残雪期に利用するルートとなります。
	No20-1 （グレード１） －括弧付き－	羽衣の滝滝見場へのルートは、現在通行止めで再開の見通しが明確ではない登山道ですが、 再開された際には『グレード１』を適用する意図で括弧付き『(グレード１)』です。
	No27-2 グレード５(注) －図中点線－	台地ゲートから三川台のルートは、一般供用された登山道ではありません。 所定の手続きをとり、自己責任で利用して下さい。
	非適用	公園計画に定められた路線のうち、林道等登山口までのアクセス路 の通行止め、登山道の管理状況から登山者に案内ができないものについては、「非適用」として「大雪山グレード」を適用していません。

登山道の保全対策ランク（利用体験ランク併記）適用表（１）《Ⅰ北大雪地域》

大雪山グレード(利用体験ランク)		登山道の保全対策ランク		登山道の保全対策ランクの設定に関わる状況（右欄参照）	保全が必要な植生	荒廃程度	進行具合	整備有無	整備後の状況
区間	ランク	ランク	区間						
ニセイカウシュッペ山登山口⇒ニセイカウシュッペ山	グレード3	D	ニセイカウシュッペ山登山口⇒㋐	・針葉樹林、ダケカンバ林、チシマザサ群落 ・小規模の侵食、徐々に進行 ・未整備	無	小	遅	無	－
		C	㋐⇒ニセイカウシュッペ山	・ハイマツ群落、保全が必要な雪田群落あり ・中～小規模の侵食、徐々に進行 ・未整備	有	中・小	遅	無	－
層雲峡園地⇒朝陽山	(グレード3)	A	層雲峡園地⇒㋐	・針葉樹林 ・大～中規模の侵食、著しく進行 ・未整備	無	大・中	早	無	－
		D	㋐⇒パノラマ台分岐⇒朝陽山	・針葉樹林、針広混交林、ダケカンバ林、チシマザサ群落 ・侵食はない、ヤブ化、倒木あり ・未整備、現在一部区間通行止め	無	－	－	無	－
パノラマ台分岐⇒パノラマ台	非適用	非適用	パノラマ台分岐⇒パノラマ台	・針葉樹林 ・パノラマ台周辺に危険箇所あり、閉鎖予定 ・未整備	無	－	－	無	－
銀河流星ノ滝園地	グレード1	D	銀河流星ノ滝園地	・針葉樹林 ・侵食はない ・駐車場等を含む園地整備、状態良好	無	－	－	有	良
紅葉谷入口⇒紅葉滝	グレード1	D	紅葉谷入口⇒紅葉滝	・針葉樹林 ・侵食はない ・未整備、管理された良好な道	無	－	－	無	－

登山道の保全対策ランク（利用体験ランク併記）適用表（２）《Ⅱ表大雪地域・１／２》

大雪山グレード(利用体験ランク)		登山道の保全対策ランク		登山道の保全対策ランクの設定に関わる状況（右欄参照）	保全が必要な植生	荒廃程度	進行具合	整備有無	整備後の状況
区間	ランク	ランク	区間						
層雲峡黒岳林道口⇒黒岳(五合目園路を除く)	グレード2	D	層雲峡黒岳林道口⇒㋐五合目ロープウェイ駅舎付近	・針葉樹林、人工林 ・中～小規模の侵食、概ね安定 ・未整備	無	中・小	安	無	－
		D	㋐' 五合目付近⇒㋑七合目付近	・チシマザサ群落 ・小規模の侵食、概ね安定 ・未整備	無	小	安	無	－
		C	㋑七合目付近⇒黒岳	・保全が必要な雪田群落・風衝地群落あり、チシマザサ群落 ・小規模の侵食、概ね安定 ・土留整備済み、周囲に小規模な侵食あり、利用者が多く頻繁に補修必要	有	小	安	有	小
黒岳⇒黒岳石室分岐	グレード3	C	黒岳⇒黒岳石室分岐	・保全が必要な風衝地群落・雪田群落あり、ハイマツ群落 ・小規模の侵食、概ね安定 ・石ステップ等あり、概ね良好	有	小	安	有	良
黒岳石室分岐⇒桂月岳	グレード3	C	黒岳石室分岐⇒桂月岳	・ハイマツ群落 ・大～小規模の侵食、徐々に進行 ・未整備	無	大・中・小	遅	無	－
黒岳石室分岐⇒北海沢	グレード3	B	黒岳石室分岐⇒北海沢	・保全が必要な雪田群落あり、ハイマツ群落 ・大～小規模の侵食、徐々に進行 ・土留整備、小規模な侵食あるが概ね良好	有	大・中・小	遅	有	小
北海沢⇒北海岳分岐⇒間宮分岐	グレード4	C	北海沢⇒㋐	・保全が必要な雪田群落あり、ハイマツ群落 ・問題ない道、雪渓が遅くまで残る ・未整備	有	－	－	無	－
		A	㋐⇒㋑	・保全が必要な雪田群落・風衝地群落あり、ハイマツ群落 ・大～小規模な侵食あり、著しく進行 ・未整備	有	大・中・小	早	無	－
		C	㋑⇒北海岳分岐⇒㋒	・保全が必要な風衝地群落あり ・小規模の侵食、徐々に進行 ・未整備	有	小	遅	無	－
		C	㋒⇒間宮分岐	・保全が必要な風衝地群落あり ・問題のない道 ・未整備	有	－	－	無	－
黒岳石室分岐⇒お鉢平展望台	グレード3	B	黒岳石室分岐⇒お鉢平展望台	・保全が必要な風衝地群落・雪田群落あり、ハイマツ群落 ・大～小規模の侵食、徐々に進行 ・土留等整備、周囲に小規模な侵食あり、老朽化	有	大・中・小	遅	有	小 老朽
お鉢平展望台⇒北鎮分岐⇒間宮分岐	グレード4	B	お鉢平展望台⇒㋐北鎮分岐	・保全が必要な風衝地群落・雪田群落あり、ハイマツ群落 ・大～小規模の侵食、徐々に進行 ・土留等整備、周囲に小規模な侵食あり、老朽化	有	大・中・小	遅	有	小 老朽
		C	㋐北鎮分岐⇒㋑中岳分岐	・保全が必要な風衝地群落・高山砂礫地あり ・小規模の侵食、概ね安定 ・未整備	有	小	安	無	－
		C	㋑中岳分岐⇒㋒	・保全が必要な風衝地群落あり ・大～中規模の侵食、概ね安定 ・土留等整備済み（H24年度）、概ね良好	有	大・中	安	有	良
		C	㋒⇒間宮分岐	・保全が必要な風衝地群落あり ・問題のない道 ・未整備	有	－	－	無	－
間宮分岐⇒旭岳	グレード4	C	間宮分岐⇒㋐裏旭から間宮分岐へのアプローチ点	・保全が必要な風衝地群落・高山砂礫地あり ・小規模の侵食、概ね安定 ・未整備	有	小	安	無	－
		A	㋐裏旭から間宮分岐へのアプローチ点⇒旭岳	・保全が必要な雪田群落・風衝地群落・高山砂礫地あり ・大～小規模の侵食、著しく進行 ・未整備	有	大・中・小	早	無	－

※大雪山グレード（グレード１～５）の「注」・「括弧付き」等は、『1．大雪山グレード（利用体験ランク）』の適用表を参照して下さい（以下同じ）。

登山道の保全対策ランク（利用体験ランク併記）適用表（3）《Ⅱ表大雪地域・2／2》

大雪山グレード(利用体験ランク)		登山道の保全対策ランク		登山道の保全対策ランクの設定に関わる状況（右欄参照）	保全が必要な植生	荒廃程度	進行具合	整備有無	整備後の状況
区間	ランク	ランク	区間						
姿見の池園地 ⇒旭岳	グレード3	C	姿見の池園地⇒旭岳	・保全が必要な高山砂礫地あり ・小規模の侵食（登山道からの流出土砂が姿見の池に堆積）、徐々に進行 ・未整備	有	小	遅	無	－
愛山渓温泉雲井ヶ原入口 ⇒雲井ヶ原湿原	非適用	非適用	愛山渓温泉雲井ヶ原入口 ⇒雲井ヶ原湿原	・保全が必要な高層湿原あり、針葉樹林 ・小規模の侵食、概ね安定 ・木道整備済み、老朽化著しい	有	小	安	有	不全
愛山渓温泉登山口 ⇒沼ノ平分岐	グレード2	D	愛山渓温泉登山口⇒沼ノ平分岐	・針広混交林、ダケカンバ林 ・小規模の侵食、概ね安定 ・石組、土留、木道等整備済み、周囲に小規模な侵食あるが概ね良好	無	小	安	有	小
三十三曲坂分岐 ⇒滝の上分岐	グレード3	D	三十三曲坂分岐⇒滝の上分岐	・針広混交林 ・小規模の侵食、概ね安定 ・石組、木道等整備済み、状態良好	無	小	安	有	良
愛山渓温泉登山口松仙園分岐 ⇒八島分岐	非適用	非適用	愛山渓温泉登山口松仙園分岐⇒八島分岐	・保全が必要な高層湿原あり、針葉樹林、チシマザサ群落 ・小規模の侵食、植生回復しヤブ化 ・現在通行止め	有	小	回	無	－
沼ノ平分岐 ⇒銀明水	グレード3	C	沼ノ平分岐⇒滝の上分岐⇒㋐	・ハイマツ群落、チシマザサ群落 ・中～小規模の侵食、徐々に進行 ・土留整備（一部）、概ね良好	無	中・小	遅	有	良
		C	㋐⇒銀明水	・ハイマツ群落、チシマザサ群落 ・大～小規模の侵食、徐々に進行 ・未整備	無	大・中・小	遅	無	－
銀明水 ⇒北鎮分岐	グレード4	C	銀明水⇒㋐永山岳	・ハイマツ群落、保全が必要な風衝地群落・雪田群落あり ・中～小規模の侵食、徐々に進行 ・未整備	有	中・小	遅	無	－
		C	㋐永山岳⇒㋑安足間岳分岐	・保全が必要な雪田群落・風衝地群落・高山砂礫地あり ・問題ない道 ・未整備	有	－	－	無	－
		C	㋑安足間岳分岐⇒愛別岳分岐⇒㋒	・保全が必要な風衝地群落・高山砂礫地あり ・問題ない道 ・未整備	有	－	－	無	－
		C	㋒⇒㋓北鎮岳	・保全が必要な風衝地群落・雪田群落・高山砂礫地あり ・中～小規模の侵食、徐々に進行 ・未整備	有	中・小	遅	無	－
		B	㋓北鎮岳⇒北鎮分岐	・保全が必要な雪田群落・風衝地群落あり ・大～小規模の侵食、徐々に進行 ・未整備	有	大・中・小	遅	無	－
愛別岳分岐 ⇒愛別岳	グレード4	C	愛別岳分岐⇒愛別岳	・保全が必要な風衝地群落・高山砂礫地あり ・問題ない道 ・未整備	有	－	－	無	－
沼ノ平分岐 ⇒六ノ沼	グレード2	C	沼ノ平分岐⇒六ノ沼	・保全が必要な高層湿原あり、ハイマツ群落、チシマザサ群落 ・小規模の侵食、徐々に進行 ・木道、土留整備済み、概ね良好	有	小	遅	有	良
六ノ沼 ⇒裾合平分岐	グレード3	C	六ノ沼⇒裾合平分岐	・保全が必要な雪田群落あり、ハイマツ群落、チシマザサ群落 ・小規模の侵食、徐々に進行 ・木道、土留整備済み、概ね良好	有	小	遅	有	良
裾合平分岐 ⇒姿見の池園地	グレード2	C	裾合平分岐⇒姿見の池園地	・保全が必要な雪田群落あり、ハイマツ群落、チシマザサ群落 ・小規模の侵食、徐々に進行 ・木道、土留整備済み、補修され概ね良好	有	小	遅	有	良
当麻乗越 ⇒安足間岳分岐	グレード4	C	当麻乗越⇒㋐	・ハイマツ群落、保全が必要な風衝地群落あり ・中～小規模の侵食、徐々に進行 ・未整備	有	中・小	遅	無	－
		B	㋐⇒㋑安足間岳	・保全が必要な雪田群落・風衝地群落あり ・大～小規模の侵食（周辺植生への影響大）、徐々に進行 ・未整備	有	大・中・小	遅	無	－
		C	㋑安足間岳⇒安足間岳分岐	・保全が必要な風衝地群落あり ・小規模の侵食、徐々に進行 ・未整備	有	小	遅	無	－
裾合平分岐 ⇒中岳温泉	グレード3	A	裾合平分岐⇒㋐	・保全が必要な雪田群落あり、ハイマツ群落 ・大～小規模の侵食、徐々に進行、一部で植生回復 ・木道整備済み、老朽化著しい	有	大・中・小	遅	有	不全
		C	㋐⇒中岳温泉	・ハイマツ群落、保全が必要な雪田群落あり ・問題ない道 ・未整備	有	－	－	無	－
中岳温泉 ⇒中岳分岐	グレード4	C	中岳温泉⇒中岳分岐	・保全が必要な風衝地群落あり、ハイマツ群落 ・大～小規模の侵食、徐々に進行 ・H26年度整備箇所、概ね良好	有	大・中・小	遅	有	良
姿見の池園地	グレード1	C	姿見の池園地	・保全が必要な雪田群落・高山砂礫地あり ・小規模の侵食あり、概ね安定 ・土留等整備、小規模な侵食あるが概ね良好、利用多く頻繁な補修必要	有	小	安	有	小
勇駒別園地 ⇒姿見の池園地	グレード2	B	勇駒別園地⇒姿見の池園地	・保全が必要な雪田群落・高層湿原あり ・小規模の侵食、徐々に進行 ・木道土留整備、木道老朽化	有	小	遅	有	老朽
勇駒別園地 （見晴台コースを除く）	グレード1	C	勇駒別園地（見晴台コース・㋐⇒㋑・㋒⇒㋓を除く）	・保全が必要な高層湿原あり、針広混交林 ・問題ない道 ・階段等整備、概ね良好	有	－	－	有	良
		C	㋐⇒㋑	・針広混交林 ・問題ない道 ・橋、階段等整備、橋老朽化	無	－	－	有	老朽
		C	㋒⇒㋓	・保全が必要な高層湿原あり ・問題ない道 ・木道土留整備、概ね良好	有	－	－	有	良
見晴台コース	グレード2	D	見晴台コース	・針広混交林 ・問題ない道 ・未整備、一部ヤブ化	無	－	－	無	－
天人峡旭岳温泉方面登山口 ⇒勇駒別園地	グレード3	A	天人峡旭岳温泉方面登山口⇒㋐	・針広混交林 ・登山道が崩落、通行困難 ・未整備	無	大	早	無	－
		D	㋐⇒㋑	・針広混交林 ・問題ない道 ・未整備	無	－	－	無	－
		D	㋑⇒勇駒別園地	・針広混交林 ・問題ない道 ・木道整備、概ね良好	無	－	－	有	良
天人峡羽衣･敷島の滝入口 ⇒羽衣の滝滝見場	（グレード1）	D	天人峡羽衣･敷島の滝入口⇒羽衣の滝滝見場	・針広混交林 ・現在通行止め ・調査未実施	無	－	－	－	－
羽衣の滝滝見場 ⇒敷島の滝	非適用	非適用	羽衣の滝滝見場⇒敷島の滝	・針広混交林 ・現在通行止め ・調査未実施	無	－	－	－	－

登山道の保全対策ランク（利用体験ランク併記）適用表（４）《Ⅲ高根ヶ原地域》

大雪山グレード(利用体験ランク)		登山道の保全対策ランク		登山道の保全対策ランクの設定に関わる状況（右欄参照）	保全が必要な植生	荒廃程度	進行具合	整備有無	整備後の状況
区間	ランク	ランク	区間						
北海岳分岐 ⇒白雲岳避難小屋分岐	グレード4	A	北海岳分岐⇒白雲岳避難小屋分岐	・保全が必要な雪田群落・風衝地群落・高山砂礫地あり、ハイマツ群落 ・大～小規模の侵食、進行著しい箇所あり ・未整備	有	大・中・小	早	無	－
白雲岳避難小屋分岐 ⇒忠別岳	グレード5	B	白雲岳避難小屋分岐⇒㋐	・保全が必要な雪田群落あり、ハイマツ群落 ・中～小規模の侵食、進行著しい箇所あり ・土留整備（一部）、状態良好	有	中・小	早	有	良
		C	㋐⇒高根ヶ原分岐⇒㋑	・保全が必要な風衝地群落あり、ハイマツ群落 ・中～小規模の侵食、概ね安定 ・未整備	有	中・小	安	無	－
		B	㋑⇒㋒	・保全が必要な雪田群落・風衝地群落あり、ハイマツ群落 ・中～小規模の侵食、徐々に進行、ぬかるみや水溜りひどい ・木道整備済み、部分的に老朽化	有	中・小	遅	有	老朽
		C	㋒⇒㋓	・ハイマツ群落、保全が必要な雪田群落あり ・侵食はほとんどない ・未整備	有	－	－	無	－
		C	㋓⇒㋔	・ハイマツ群落、保全が必要な雪田群落あり ・小規模の侵食あり、徐々に進行 ・木道整備済み、概ね良好だが木道の一部が老朽化	有	小	遅	有	老朽
		C	㋔⇒忠別岳	・ハイマツ群落、保全が必要な雪田群落・風衝地群落あり ・侵食はほとんどない ・未整備	有	－	－	無	－
銀泉台 ⇒第一花園	グレード2	D	銀泉台⇒㋐赤岳登山口	・針広混交林 ・侵食はない ・砂利道整備済み、状態良好	無	－	－	有	良
		C	㋐赤岳登山口⇒第一花園	・針広混交林 ・中～小規模の侵食、徐々に進行 ・土留、ステップ工整備済み、土留周囲に小規模な侵食あり	無	中・小	遅	有	小
第一花園 ⇒赤岳	グレード3	C	第一花園⇒㋐	・保全が必要な雪田群落あり ・小規模な侵食（拡幅）、徐々に進行 ・未整備	有	小	遅	無	－
		B	㋐⇒赤岳	・保全が必要な雪田群落・風衝地群落あり、ハイマツ群落 ・中～小規模の侵食、進行著しい箇所あり ・土留整備（一部）、周囲に小規模な侵食あり、一部老朽化	有	中・小	早	有	小 老朽
赤岳 ⇒白雲岳	グレード4	C	赤岳⇒白雲岳	・保全が必要な風衝地群落あり ・中～小規模の侵食、徐々に進行 ・未整備	有	中・小	遅	無	－
大雪高原温泉 ⇒第二花畑	グレード3	C	大雪高原温泉⇒第二花畑	・保全が必要な雪田群落・風衝地群落あり、針広混交林、ハイマツ群落 ・中～小規模の侵食、徐々に進行 ・土留、木道等の整備多い、周囲に小規模侵食あり	有	中・小	遅	有	小
第二花畑 ⇒緑岳	グレード4	C	第二花畑⇒緑岳	・保全が必要な雪田群落・風衝地群落あり、針広混交林、ハイマツ群落 ・中～小規模の侵食、徐々に進行 ・土留、木道等の整備多い、周囲に小規模侵食あり	有	中・小	遅	有	小
緑岳 ⇒小泉岳分岐 ⇒白雲岳避難小屋分岐	グレード4	C	緑岳⇒小泉岳分岐	・保全が必要な風衝地群落あり ・小規模の侵食、概ね安定 ・未整備	有	小	安	無	－
		B	板垣新道分岐⇒白雲岳避難小屋分岐	・保全が必要な雪田群落・風衝地群落あり ・中～小規模の侵食進行、進行著しい箇所あり ・未整備	有	中・小	早	無	－
大雪高原温泉 ⇒ヤンベ温泉分岐⇒緑の沼	グレード2	C	大雪高原温泉⇒ヤンベ温泉分岐⇒緑の沼	・針葉樹林、保全が必要な高層湿原あり ・問題ない道 ・木道土留整備済み、一部老朽化、頻繁な維持管理が必要	有	－	－	有	老朽
緑の沼 ⇒三笠新道分岐⇒ヤンベ温泉分岐	グレード3	C	緑の沼⇒三笠新道分岐⇒ヤンベ温泉分岐	・針葉樹林、保全が必要な高層湿原あり ・小規模の侵食、進行遅い ・木道土留整備済み（一部）、一部老朽化、頻繁な維持管理が必要	有	小	遅	有	老朽
三笠新道分岐 ⇒高根ヶ原分岐	グレード5（注）	C	三笠新道分岐⇒高根ヶ原分岐	・保全が必要な雪田群落あり ・小規模の侵食、概ね安定 ・未整備：（注）ヒグマとの軋轢を避けるため夏山シーズンは通行止め	有	小	安	無	－

登山道の保全対策ランク（利用体験ランク併記）適用表（５）《Ⅳトムラウシ山系・1／2》

大雪山グレード（利用体験ランク）		登山道の保全対策ランク		登山道の保全対策ランクの設定に関わる状況（右欄参照）	保全が必要な植生	荒廃程度	進行具合	整備有無	整備後の状況
区間	ランク	ランク	区間						
忠別岳 ⇒トムラウシ山	グレード５	C	忠別岳⇒㋔忠別岳避難小屋分岐⇒㋐五色分岐	・保全が必要な風衝地群落あり、ハイマツ群落 ・中～小規模の侵食、徐々に進行 ・未整備	有	中・小	遅	無	－
		C	㋐五色分岐⇒㋑	・ハイマツ群落 ・問題ない道 ・未整備	無	－	－	無	－
		C	㋑⇒化雲岳周辺⇒㋒ヒサゴ沼北分岐	・保全が必要な雪田群落・風衝地群落あり ・小規模の侵食、概ね安定 ・木道整備、状態良好	有	小	安	有	良
		C	㋒ヒサゴ沼北分岐⇒㋓ヒサゴ沼南分岐	・ハイマツ群落 ・小規模の侵食、概ね安定 ・未整備	無	小	安	無	－
		C	㋓ヒサゴ沼南分岐⇒㋕天沼	・保全が必要な風衝地群落あり、ハイマツ群落 ・小規模の侵食、概ね安定 ・木道整備済み、状態良好	有	小	安	有	良
		C	㋕天沼⇒㋖北沼分岐	・保全が必要な風衝地群落あり、巨岩帯 ・中～小規模の侵食、徐々に進行 ・未整備、巨岩帯がルート不明瞭	有	中・小	遅	無	－
		C	㋖北沼分岐⇒トムラウシ山	・保全が必要な風衝地群落あり、ハイマツ群落、巨岩帯 ・中～小規模の侵食あり、徐々に進行 ・未整備、巨岩帯がルート不明瞭	有	中・小	遅	無	－
（忠別岳避難小屋分岐 ⇒忠別岳南避難小屋）		B	㋔忠別岳避難小屋分岐⇒忠別岳南避難小屋	・保全が必要な雪田群落あり、ハイマツ群落 ・中～小規模の侵食、徐々に進行 ・未整備	有	中・小	遅	無	－
（ヒサゴ沼北分岐 ⇒ヒサゴ沼避難小屋分岐 ⇒ヒサゴ沼南分岐） ⇒ヒサゴ沼避難小屋）		C	㋒ヒサゴ沼北分岐⇒㋗	・保全が必要な雪田群落あり、ハイマツ群落 ・小規模の侵食、概ね安定 ・木道整備済み、状態良好	有	小	遅	有	良
		A	㋗⇒㋘ヒサゴ沼避難小屋分岐	・保全が必要な雪田群落あり ・大～中規模の侵食（雪渓を避けて複線化）、進行著しい ・土留整備済み、破損し機能不全あり	有	大・中・小	早	有	不全
		C	㋘ヒサゴ沼避難小屋分岐⇒㋙	・保全が必要な雪田群落あり ・侵食はない ・木道整備済み、状態良好	有	－	－	有	良
		C	㋘ヒサゴ沼避難小屋分岐⇒ヒサゴ沼避難小屋	・保全が必要な雪田群落あり ・侵食はない ・木道整備済み、状態良好	有	－	－	有	良
		A	㋙⇒㋚	・保全が必要な雪田群落あり ・大規模の侵食（雪渓を避けて歩行）、進行著しい ・土留整備済み、周囲に小規模な侵食あり	有	大	早	有	小
		C	㋚⇒㋛ヒサゴ沼南分岐	・巨岩帯 ・問題ない道 ・未整備	無	－	－	無	－
トムラウシ山 ⇒オプタテシケ山	グレード５	A	トムラウシ山⇒㋐	・保全が必要な風衝地群落・雪田群落あり ・大～小規模の侵食、進行著しい ・未整備	有	大・中・小	早	無	－
		C	㋐⇒三川台⇒㋑	・ハイマツ群落、チシマザサ群落、保全が必要な風衝地群落あり ・小規模の侵食、概ね安定、ヤブ化（一部） ・未整備	有	小	安	無	－
		C	㋑⇒㋒	・ハイマツ群落、チシマザサ群落 ・小規模の侵食、概ね安定、ヤブ化（一部） ・未整備	無	小	安	無	－
		C	㋒⇒㋛	・ハイマツ群落、チシマザサ群落、低木群落 ・中規模の侵食、徐々に進行 ・鎖の設置あり、状態良好	無	中	早	有	良好
		C	㋛⇒㋜	・ハイマツ群落、チシマザサ群落 ・小規模の侵食、概ね安定 ・未整備	無	小	安	無	－
		C	㋜⇒㋝	・ハイマツ群落、チシマザサ群落 ・小規模の侵食、概ね安定、ヤブ化（一部） ・未整備	無	小	安	無	－
		C	㋝⇒㋞	・ハイマツ群落、チシマザサ群落 ・小規模の侵食、概ね安定 ・未整備	無	小	安	無	－
		C	㋞⇒㋟	・ハイマツ群落、チシマザサ群落、保全が必要な雪田群落あり ・小規模の侵食、概ね安定 ・未整備	有	小	安	無	－
		C	㋟⇒オプタテシケ山	・ハイマツ群落、保全が必要な風衝地群落・雪田群落あり ・中～小規模の侵食、ぬかるみ、徐々に進行 ・未整備	有	中・小	遅	無	－
台地ゲート ⇒三川台	グレード５（注）	C	台地ゲート⇒三川台	・針広混交林、ダケカンバ林、ハイマツ群落、保全が必要な風衝地群落あり ・中～小規模の侵食、徐々に進行 ・未整備：（注）一般供用された登山道ではない	有	中・小	遅	無	－
天人峡化雲岳方面登山口 ⇒滝見台	グレード２	C	天人峡化雲岳方面登山口⇒滝見台	・針広混交林 ・侵食はほとんどない、倒木多い ・土留等整備済み、状態良好、崩れやすく頻繁に補修が必要な場所	無	－	－	有	良
滝見台 ⇒化雲岳	グレード４	D	滝見台⇒㋐	・針広混交林 ・小規模の侵食、概ね安定 ・未整備	無	小	安	無	－
		C	㋐⇒㋑	・保全が必要な雪田群落あり、ハイマツ群落 ・小規模の侵食あり、ぬかるみ、概ね安定 ・木道、土留整備、侵食により土質破損、木道概ね良好	有	小	安	有	小 不全
		B	㋑⇒㋒	・保全が必要な雪田群落あり、 ・大規模の侵食、ぬかるみひどい、徐々に進行 ・未整備	有	大	遅	無	－
		C	㋒⇒㋓小化雲岳直下（ポン沼南）	・ハイマツ群落、保全が必要な雪田群落・風衝地群落あり ・小規模の侵食、ぬかるみ、概ね安定、ヤブ化 ・未整備	有	小	安	無	－
		A	㋓小化雲岳直下（ポン沼南）⇒㋔	・保全が必要な風衝地群落あり ・大規模の侵食、進行著しい ・未整備	有	大	早	無	－
		C	㋔⇒化雲岳	・保全が必要な風衝地群落・雪田群落あり、ハイマツ群落 ・中～小規模の侵食、徐々に進行 ・未整備	有	中・小	遅	無	－

登山道の保全対策ランク（利用体験ランク併記）適用表（6）《Ⅳトムラウシ山系・2／2》

大雪山グレード(利用体験ランク)		登山道の保全対策ランク		登山道の保全対策ランクの設定に関わる状況（右欄参照）	保全が必要な植生	荒廃程度	進行具合	整備有無	整備後の状況
区間	ランク	ランク	区間						
クチャンベツ沼ノ原登山口 ⇒五色分岐	グレード4	C	クチャンベツ沼ノ原登山口⇒㋐	・針広混交林 ・小規模の侵食、近年付替えたルート、徐々に進行 ・土留整備、周囲に小規模侵食あり	無	小	遅	有	小
		A	㋐⇒㋑	・針広混交林、ダケカンバ林 ・大～小規模の侵食あり、急激に進行（歩行困難な状態） ・土留整備、一部老朽化	無	大・中・小	早	有	老朽
		C	㋑⇒沼ノ原分岐⇒五色分岐	・針広混交林、保全が必要な高層湿原あり ・問題ない道 ・木道整備済み、概ね良好	有	－	－	有	良
ヌプントムラウシ温泉登山口 ⇒石狩分岐	非適用	非適用	ヌプントムラウシ温泉登山口⇒石狩分岐	・林道通行止め ・調査未実施	－	－	－	－	－
石狩分岐⇒沼ノ原分岐	グレード5	D	石狩分岐⇒沼ノ原分岐	・チシマザサ群落 ・小規模の侵食、概ね安定 ・未整備	無	小	安	無	－
トムラウシ温泉登山口 ⇒前トム平	グレード4	D	トムラウシ温泉登山口⇒㋐温泉コース分岐	・針広混交林 ・中～小規模の侵食、概ね安定 ・未整備	無	中・小	安	無	－
		C	㋐温泉コース分岐⇒㋑カムイ天上	・針広混交林 ・小規模の侵食、概ね安定 ・土留、排水等整備済み、周囲に小規模の侵食あり（要補修・管理）	無	中・小	安	有	小
		C	㋑カムイ天上⇒㋒コマドリ沢出合	・針広混交林 ・中～小規模の侵食、ぬかるみ、近年付け替えた区間であり進行著しい ・木道、土留、ステップ、排水等整備、周囲に小規模の侵食あり	無	中・小	早	有	小
		C	㋒コマドリ沢出合⇒前トム平	・保全が必要な雪田群落・高層湿原あり、ハイマツ群落 ・問題ない道 ・未整備	有	－	－	無	－
前トム平 ⇒北沼分岐	グレード5	C	前トム平⇒㋐トムラウシ公園	・保全が必要な風衝地群落・雪田群落あり、ハイマツ群落 ・問題ない道 ・未整備	有	－	－	無	－
		B	㋐トムラウシ公園⇒㋑	・保全が必要な雪田群落あり、ハイマツ群落 ・大～小規模の侵食、徐々に進行 ・土留、ステップ等整備、周囲に小規模の侵食あり	有	大・中・小	遅	有	小
		A	㋑⇒㋒トムラウシ分岐（西）	・保全が必要な雪田群落あり ・大規模の侵食、進行著しい ・未整備	有	大	早	無	－
		C	㋒トムラウシ分岐（西）⇒北沼分岐	・保全が必要な雪田群落・風衝地群落あり ・中～小規模の侵食、徐々に進行 ・未整備	有	中・小	遅	無	－
短縮コース登山口 ⇒温泉コース分岐	グレード4	D	短縮コース登山口⇒温泉コース分岐	・針広混交林 ・小規模の侵食、徐々に進行 ・土留整備、周囲に小規模の侵食あり	無	小	遅	有	小
霧吹ノ滝入口 ⇒霧吹ノ滝	非適用	非適用	霧吹ノ滝入口⇒霧吹ノ滝	・現在通行止め ・調査未実施（一部のみ調査実施）	無	－	－	無	－

登山道の保全対策ランク（利用体験ランク併記）適用表（7）《Ⅴ十勝岳地域・1／2》

大雪山グレード(利用体験ランク)		登山道の保全対策ランク		登山道の保全対策ランクの設定に関わる状況（右欄参照）	保全が必要な植生	荒廃程度	進行具合	整備有無	整備後の状況
区間	ランク	ランク	区間						
オプタテシケ山 ⇒十勝岳 ⇒美瑛富士	グレード4	C	オプタテシケ山⇒㋐十勝岳･美瑛富士分岐／美瑛富士	・保全が必要な風衝地群落・雪田群落・高山砂礫地あり、ハイマツ群落 ・中～小規模の侵食、徐々に進行 ・未整備	有	中・小	遅	無	－
		C	㋐十勝岳･美瑛富士分岐⇒十勝岳	・保全が必要な風衝地群落・高山砂礫地あり ・小規模の侵食、概ね安定 ・未整備	有	小	安	無	－
十勝岳 ⇒富良野岳	グレード4	C	十勝岳⇒㋐上ホロ避難小屋分岐	・保全が必要な風衝地群落・高山砂礫地あり ・小規模の侵食、概ね安定 ・未整備	有	小	安	無	－
		C	㋐上ホロ避難小屋分岐⇒㋑上ホロ山南分岐⇒㋒上富良野岳	・保全が必要な風衝地群落あり、ハイマツ群落 ・中～小規模の侵食、徐々に進行 ・未整備	有	中・小	遅	無	－
		C	㋐上ホロ避難小屋分岐⇒（上ホロ巻道）⇒㋑上ホロ山南分岐	・保全が必要な雪田群落あり、ハイマツ群落 ・中～小規模の侵食、概ね安定 ・未整備	有	中・小	安	無	－
		C	㋒上富良野岳⇒㋓	・保全が必要な風衝地群落あり、ハイマツ群落 ・問題ない道 ・未整備	有	－	－	無	－
		C	㋓⇒㋔富良野岳肩分岐	・ハイマツ群落、保全が必要な雪田群落あり ・中～小規模の侵食、徐々に進行 ・土留、ステップ等整備、状態良好	有	中・小	遅	有	良
		C	㋔富良野岳肩分岐⇒㋕	・ハイマツ群落、保全が必要な風衝地群落あり ・大規模の裸地あり、歩行部は整備済みで概ね安定 ・土留整備済み、状態良好	有	大	安	有	良
		A	㋕⇒富良野岳	・保全が必要な風衝地群落あり ・大～小規模の侵食が集中、進行早い ・未整備	有	大・中・小	早	無	－
富良野岳 ⇒布札別登山口	グレード4	C	富良野岳⇒㋐	・保全が必要な風衝地群落あり ・中～小規模の侵食、概ね安定 ・未整備	有	中・小	安	無	－
		D	㋐⇒㋑	・チシマザサ群落、低木群落 ・問題ない道、ぬかるみ ・未整備	無	－	－	無	－
		C	㋑⇒㋒富良野岳分岐	・針葉樹林、保全が必要な高層湿原あり ・前回調査の複線化箇所で植生回復、ぬかるみひどい ・未整備	有	－	回	無	－
		C	㋒富良野岳分岐⇒㋓	・針葉樹林、保全が必要な高層湿原あり ・中～小規模の侵食、ぬかるみ、概ね安定 ・未整備	有	中・小	安	無	－
		D	㋓⇒布札別登山口	・針広混交林 ・問題ない道 ・未整備	無	－	－	無	－

登山道の保全対策ランク（利用体験ランク併記）適用表（8）《V十勝岳地域・2／2》

大雪山グレード(利用体験ランク)		登山道の保全対策ランク		登山道の保全対策ランクの設定に関わる状況（右欄参照）	保全が必要な植生	荒廃程度	進行具合	整備有無	整備後の状況
区間	ランク	ランク	区間						
美瑛富士登山口 ⇒美瑛富士避難小屋分岐 ⇒美瑛富士避難小屋 ・オプタテシケ方面分岐	グレード3	C	美瑛富士登山口⇒⑦	・針広混交林、針葉樹林、ダケカンバ林、ハイマツ群落 ・中～小規模の侵食、徐々に進行 ・未整備	無	中・小	遅	無	－
		A	⑦⇒美瑛富避難小屋⇒美瑛富士避難小屋分岐、及び、美瑛富士避難小屋・オプタテシケ方面分岐	・保全が必要な雪田群落あり、ハイマツ群落 ・大～小規模の侵食、進行著しい ・土留整備、周囲に侵食が生じ機能不全	有	大・中・小	早	有	小 不全
白金温泉望岳台歩道口 ⇒望岳台	非適用	非適用	白金温泉望岳台歩道口⇒望岳台	・針広混交林 ・中～小規模の侵食、進行著しい箇所あり ・旧スキーコース（望岳台歩道）	無	中・小	早	－	－
白金温泉ウグイス谷歩道口 ⇒望岳台	グレード2	C	白金温泉ウグイス谷歩道口⇒望岳台	・針広混交林 ・調査未実施	無	－	－	－	－
望岳台 ⇒十勝岳	グレード3	C	望岳台⇒十勝岳	・保全が必要な硫気荒原群落・高山砂礫地あり ・小規模の侵食、概ね安定 ・未整備	有	小	安	無	－
雲ノ平分岐 ⇒美瑛富士分岐 ⇒十勝岳・美瑛富士分岐	グレード3	C	雲ノ平分岐⇒⑦美瑛岳分岐	・ハイマツ群落、保全が必要な風衝地群落あり ・小規模の侵食、概ね安定 ・土留整備（ハイマツ帯の局所）、小規模な侵食	有	小	安	有	小
		C	⑦美瑛岳分岐⇒美瑛富士分岐	・保全が必要な雪田群落あり、ハイマツ群落 ・小規模の侵食、概ね安定 ・未整備	有	小	安	無	－
		B	⑦美瑛岳分岐⇒④美瑛岳	・保全が必要な風衝地群落あり、ハイマツ群落 ・大～小規模の侵食、進行著しい（ハイマツ群落） ・未整備	有	大・中・小	早	無	－
		C	④美瑛岳⇒十勝岳・美瑛富士分岐	・保全が必要な風衝地群落あり ・問題ない道 ・未整備	有	－	－	無	－
吹上温泉十勝岳方面登山口 ⇒白銀荘分岐 ⇒望岳台南分岐	グレード2	C	吹上温泉十勝岳方面登山口⇒⑦泥流分岐⇒白銀荘分岐	・針葉樹林、ハイマツ群落、保全が必要な風衝地群落・硫気荒原群落あり ・小規模の侵食、概ね安定 ・未整備	有	小	安	無	－
		C	⑦泥流分岐⇒望岳台南分岐	・保全が必要な風衝地群落・高山砂礫地あり ・中～小規模の侵食あり、徐々に進行（局所的に進行した箇所あり） ・未整備	有	中・小	遅	無	－
十勝岳温泉西分岐 ⇒十勝岳温泉吹上温泉方面口 ⇒旧国民宿舎	グレード2	D	十勝岳温泉西分岐⇒旧国民宿舎北分岐⇒十勝岳温泉吹上温泉方面口／旧国民宿舎	・針広混交林 ・問題ない道 ・未整備	無	－	－	無	－
吹上温泉三段山方面登山口 ⇒三段山分岐	グレード3	C	吹上温泉三段山方面登山口⇒三段山分岐	・針葉樹林、針広混交林、ハイマツ群落、保全が必要な風衝地群落あり ・中～小規模の侵食、概ね安定 ・土留整備、周囲に小規模侵食生じ老朽化	有	中・小	安	有	小 老朽
十勝岳温泉登山口 ⇒上富良野岳 ⇒富良野岳肩分岐	グレード3	C	十勝岳温泉登山口⇒⑦上ホロ分岐	・針広混交林、チシマザサ群落、ハイマツ群落 ・中～小規模の侵食、著しく進行 ・土留、排水整備、小規模侵食生じケーブル露出	無	中・小	早	有	小
		C	⑦上ホロ分岐⇒上富良野岳	・チシマザサ群落、ハイマツ群落、保全が必要な雪田群落、風衝地群落あり ・中～小規模の侵食、徐々に進行 ・土留整備、周囲に小規模侵食あり	有	中・小	遅	有	小
		C	⑦上ホロ分岐⇒④	・チシマザサ群落、ハイマツ群落 ・中～小規模の侵食、徐々に進行 ・土留整備、周囲に小規模侵食あり	無	中・小	遅	有	小
		D	④⇒㋐	・チシマザサ群落、ハイマツ群落 ・問題ない道 ・未整備	無	－	－	無	－
		C	㋐⇒富良野岳肩分岐	・チシマザサ群落、ハイマツ群落 ・中～小規模の侵食、徐々に進行 ・土留整備、一部で小規模侵食が生じ機能不全状態	無	中・小	遅	有	小 不全
十勝岳新得登山口 ⇒新得コース分岐	グレード4	D	十勝岳新得登山口⇒⑦滝下渡渉点	・針広混交林、ハイマツ群落 ・問題ない道、倒木あり ・未整備	無	－	－	無	－
		C	⑦滝下渡渉点⇒④	・ハイマツ群落 ・大～小規模の侵食、徐々に進行 ・未整備	無	大・中・小	遅	無	－
		C	④⇒新得コース分岐	・保全が必要な風衝地群落あり、硫気荒原 ・問題ない道、ルート不明瞭 ・未整備	有	－	－	無	－
布札別登山口分岐 ⇒不動の滝入口との連絡部	非適用	非適用	布札別登山口分岐⇒不動の滝入口との連絡部	・針葉樹林 ・調査未実施	有	－	－	－	－
不動の滝入口 ⇒勝竜ノ滝	グレード5	D	不動の滝入口⇒勝竜ノ滝	・針葉樹林 ・調査未実施	無	－	－	－	－
富良野岳分岐 ⇒勝竜ノ滝	グレード5	C	富良野岳分岐⇒滝・沼コース分岐⇒勝竜ノ滝	・保全が必要な高層湿原あり ・問題ない道 ・未整備	有	－	－	無	－
滝・沼コース分岐 ⇒五反沼	非適用	非適用	滝・沼コース分岐⇒五反沼	・保全が必要な高層湿原あり ・問題ない道、ヤブ化著しい、ルート不明瞭 ・未整備	有	－	－	無	－

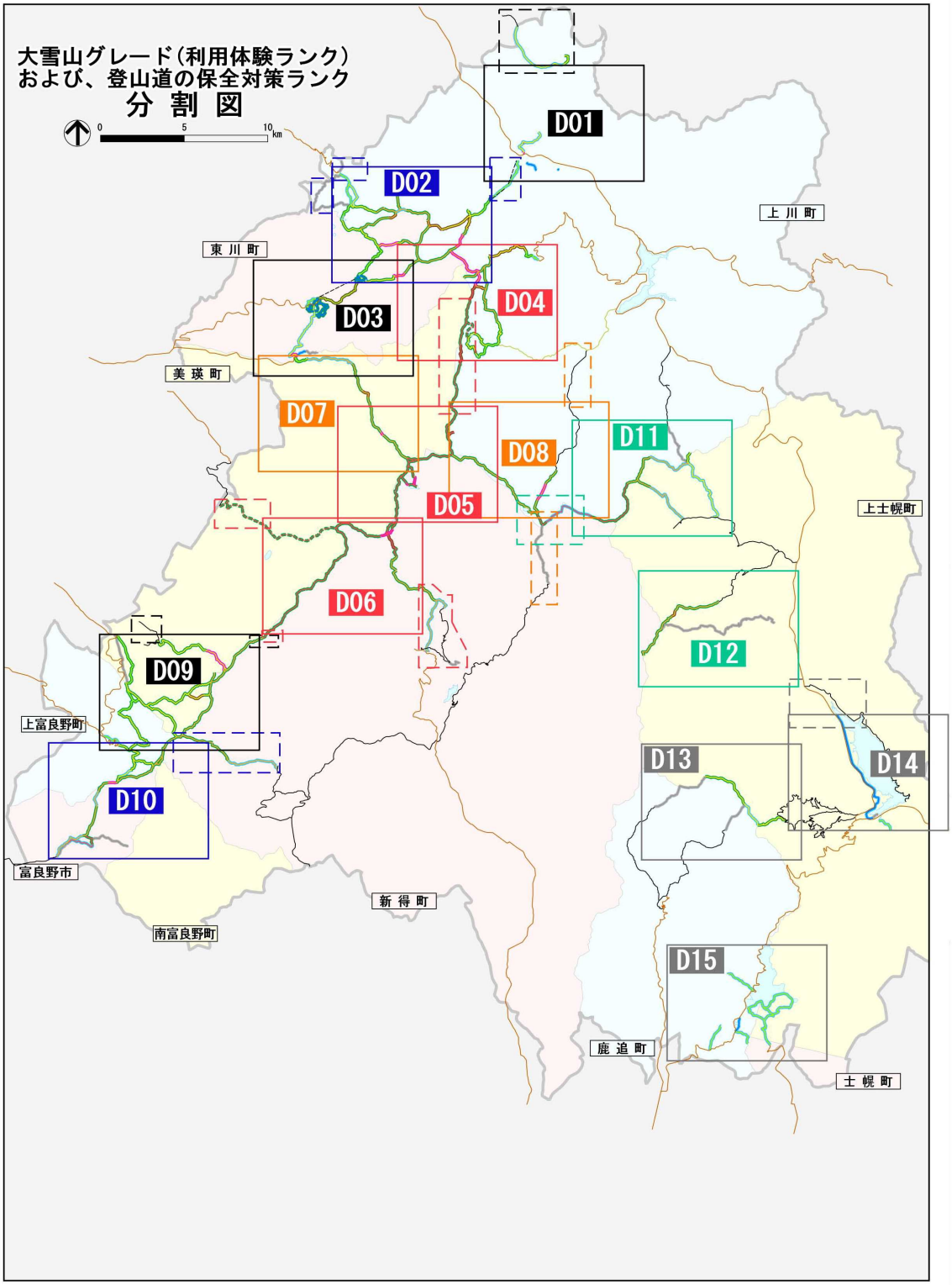
登山道の保全対策ランク（利用体験ランク併記）適用表（９）《Ⅵ東大雪地域》

大雪山グレード（利用体験ランク）		登山道の保全対策ランク		登山道の保全対策ランクの設定に関わる状況（右欄参照）	保全が必要な植生	荒廃程度	進行具合	整備有無	整備後の状況
区間	ランク	ランク	区間						
ポンユニ石狩沢登山口 ⇒十石峠	非適用	非適用	ポンユニ石狩沢登山口⇒ 十石峠	・林道通行止め ・調査未実施（一部のみ調査実施）	－	－	－	－	－
十石峠 ⇒ユニ石狩岳	グレード３	C	十石峠⇒ユニ石狩岳	・ハイマツ群落、保全が必要な風衝地群落あり ・小規模の侵食、概ね安定 ・未整備	有	小	安	無	－
ユニ石狩岳三股登山口 ⇒十石峠	グレード３	D	ユニ石狩岳三股登山口⇒ 十石峠	・針広混交林、針葉樹林、ダケカンバ林、ハイマツ群落 ・問題ない道、倒木多い ・未整備	無	－	－	無	－
十石峠 ⇒シュナイダーの肩	グレード４	D	十石峠⇒㋐	・ハイマツ群落、ダケカンバ林 ・問題ない道、前回調査時の複線化箇所の一部で植生回復 ・未整備	無	－	回	無	－
		C	㋐⇒シュナイダーの肩	・ハイマツ群落、ダケカンバ林、保全が必要な風衝地群落あり ・問題ない道、前回調査時の複線化箇所の一部で植生回復 ・未整備	有	－	回	無	－
シュナイダー登山口 ⇒石狩岳	グレード４	D	シュナイダー登山口⇒㋐	・針広混交林、針葉樹林 ・小規模の侵食と路肩崩落、概ね安定 ・未整備	無	小	安	無	－
		C	㋐⇒石狩岳	・針広混交林、ハイマツ群落、保全が必要な雪田群落あり ・中～小規模の侵食と路肩崩落、概ね安定 ・未整備、フィックスロープの設置あり	有	中・小	安	無	－
石狩岳 ⇒石狩分岐	グレード５	C	石狩岳⇒㋐	・保全が必要な風衝地群落・雪田群落あり、ハイマツ群落、高山砂礫地 ・小規模の侵食、概ね安定 ・未整備	有	小	安	無	－
		D	㋐⇒㋑	・ハイマツ・チシマザサ群落、ダケカンバ林 ・中～小規模の侵食、概ね安定 ・未整備	有	中・小	安	無	－
		C	㋑⇒石狩分岐	・チシマザサ群落、保全が必要な高層湿原あり ・小規模の侵食あり、概ね安定 ・未整備、湿原内ルート不明瞭	有	小	安	無	－
十六ノ沢（杉沢）コース登山口 ⇒ニペソツ山	グレード４	C	十六ノ沢（杉沢）コース登山口⇒㋐	・針葉樹林、針広混交林、ダケカンバ林、ハイマツ群落 ・中～小規模の侵食、徐々に進行 ・土留（一部）、概ね良好、倒木あり	無	中・小	遅	有	良
		B	㋐⇒㋑	・チシマザサ群落 ・大～小規模の侵食、進行著しい ・未整備	無	大・中・小	早	無	－
		C	㋑⇒㋒前天狗岳南分岐	・ハイマツ群落、巨石帯、保全が必要な風衝地群落あり ・問題ない道 ・未整備	有	－	－	－	－
		C	㋒前天狗岳南分岐⇒ニペソツ山	・保全が必要な風衝地群落・雪田群落あり、ハイマツ群落 ・中～小規模の侵食、徐々に進行（一部） ・未整備	有	中・小	遅	無	－
幌加温泉登山口 ⇒前天狗南分岐	非適用	非適用	幌加温泉登山口⇒前天狗南分岐	・調査未実施（ルート不明瞭、一部のみ調査実施）	－	－	－	－	－
糖平コース新登山口 ⇒ウペペサンケ山西ピーク	グレード３	C	糖平コース新登山口⇒㋐	・針葉樹林、針広混交林、ダケカンバ林 ・付替区間は侵食の進行著しい、以降は小規模の侵食、徐々に進行 ・未整備、付替区間以降は倒木あり	無	小	早	無	－
		D	㋐⇒㋑菅野温泉東コース分岐	・ハイマツ群落 ・小規模の侵食、概ね安定 ・未整備	無	小	安	無	－
		C	㋑菅野温泉東コース分岐⇒ウペペサンケ山西ピーク	・保全が必要な風衝地群落あり、ハイマツ群落 ・小規模の侵食、概ね安定 ・未整備	有	小	安	無	－
菅野温泉東コース登山口 ⇒菅野温泉東コース分岐	非適用	非適用	菅野温泉東コース登山口⇒㋑菅野温泉東コース分岐	・林道通行止め ・調査未実施	－	－	－	－	－
菅野温泉西コース登山口 ⇒ウペペサンケ山西ピーク	非適用	非適用	菅野温泉西コース登山口⇒ウペペサンケ山西ピーク	・林道通行止め ・調査未実施	－	－	－	－	－

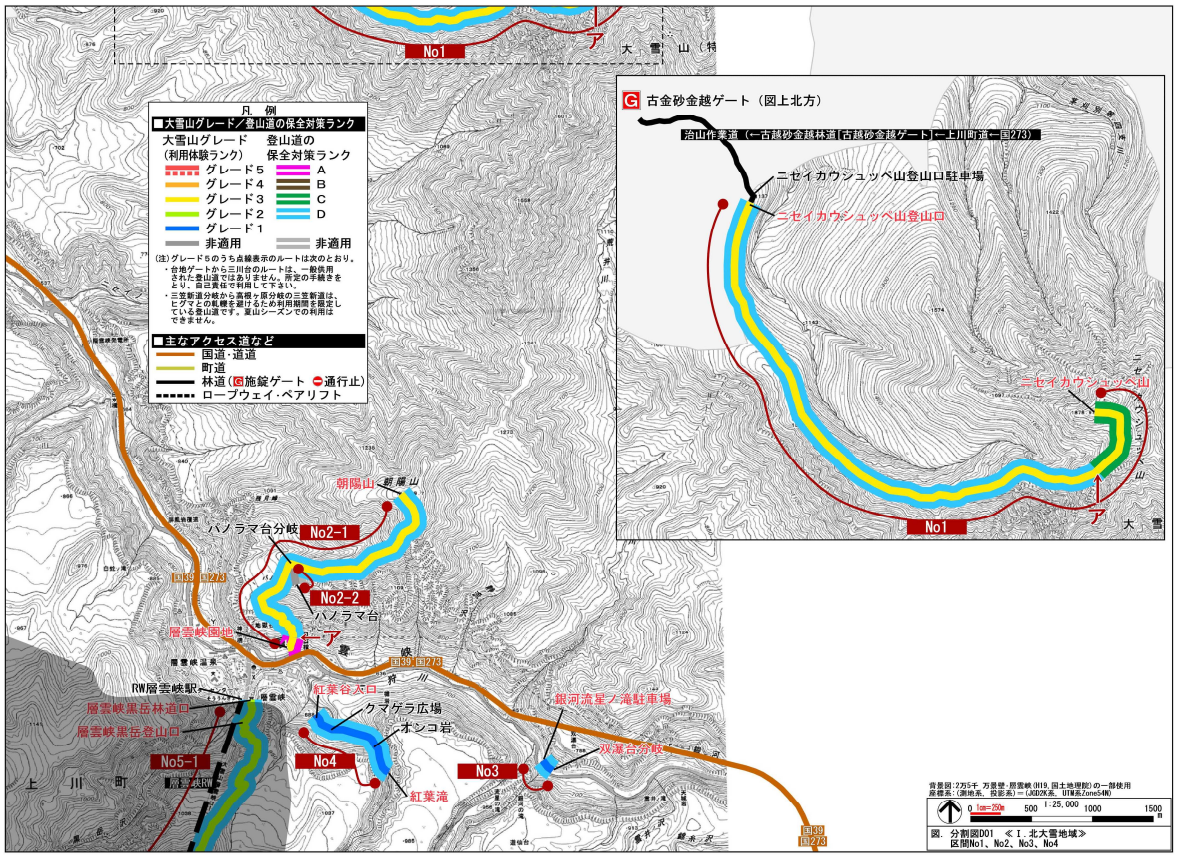
登山道の保全対策ランク（利用体験ランク併記）適用表（１０）《Ⅶ糖平然別地域》

大雪山グレード（利用体験ランク）		登山道の保全対策ランク		登山道の保全対策ランクの設定に関わる状況（右欄参照）	保全が必要な植生	荒廃程度	進行具合	整備有無	整備後の状況
区間	ランク	ランク	区間						
天宝山登山口 ⇒天宝山	グレード２	D	天宝山登山口⇒天宝山	・針広混交林、針葉樹林 ・小規模の侵食わずかにあり、概ね安定 ・未整備	無	小	安	無	－
軌道跡トンネル ⇒鉄道資料館	非適用	非適用	軌道跡トンネル⇒鉄道資料館	・北海道自然歩道として未供用	－	－	－	－	－
鉄道資料館 ⇒メトセップ	グレード１	D	鉄道資料館⇒メトセップ	・針広混交林 ・問題ない道 ・軌道跡を歩道整備、状態良好、倒木あり	無	－	－	有	良
南ペトウトル山登山口 ⇒南ペトウトル山	グレード２	D	南ペトウトル山登山口⇒ 南ペトウトル山	・針広混交林 ・侵食無いが、ヤブ化しルート不明瞭区間あり ・未整備	無	－	－	無	－
白雲山登山口 ⇒白雲山士幌高原登山口	グレード２	D	白雲山登山口⇒白雲山士幌高原登山口	・針広混交林、ダケカンバ林、高茎草本群落（ナキウサギ生息地） ・小規模の侵食、概ね安定、 ・未整備、ヤブ化、倒木あり	有	－	－	無	－
駒止湖入口 ⇒東ヌプカウシヌプリ登山口	グレード１	D	駒止湖入口⇒東ヌプカウシヌプリ登山口	・針広混交林、ダケカンバ林 ・侵食無いが、ヤブ化、倒木あり ・未整備	無	－	－	無	－
東ヌプカウシヌプリ登山口 ⇒東ヌプカウシヌプリ	グレード２	D	東ヌプカウシヌプリ登山口⇒東ヌプカウシヌプリ	・針葉樹林、針広混交林、チシマザサ群落 ・問題ない道 ・未整備	無	－	－	無	－
西ヌプカウシヌプリ登山口 ⇒西ヌプカウシヌプリ	グレード２	D	西ヌプカウシヌプリ登山口⇒西ヌプカウシヌプリ	・針広混交林、ダケカンバ林、巨岩帯 ・侵食無いが、ヤブ化、倒木あり ・未整備	無	－	－	無	－

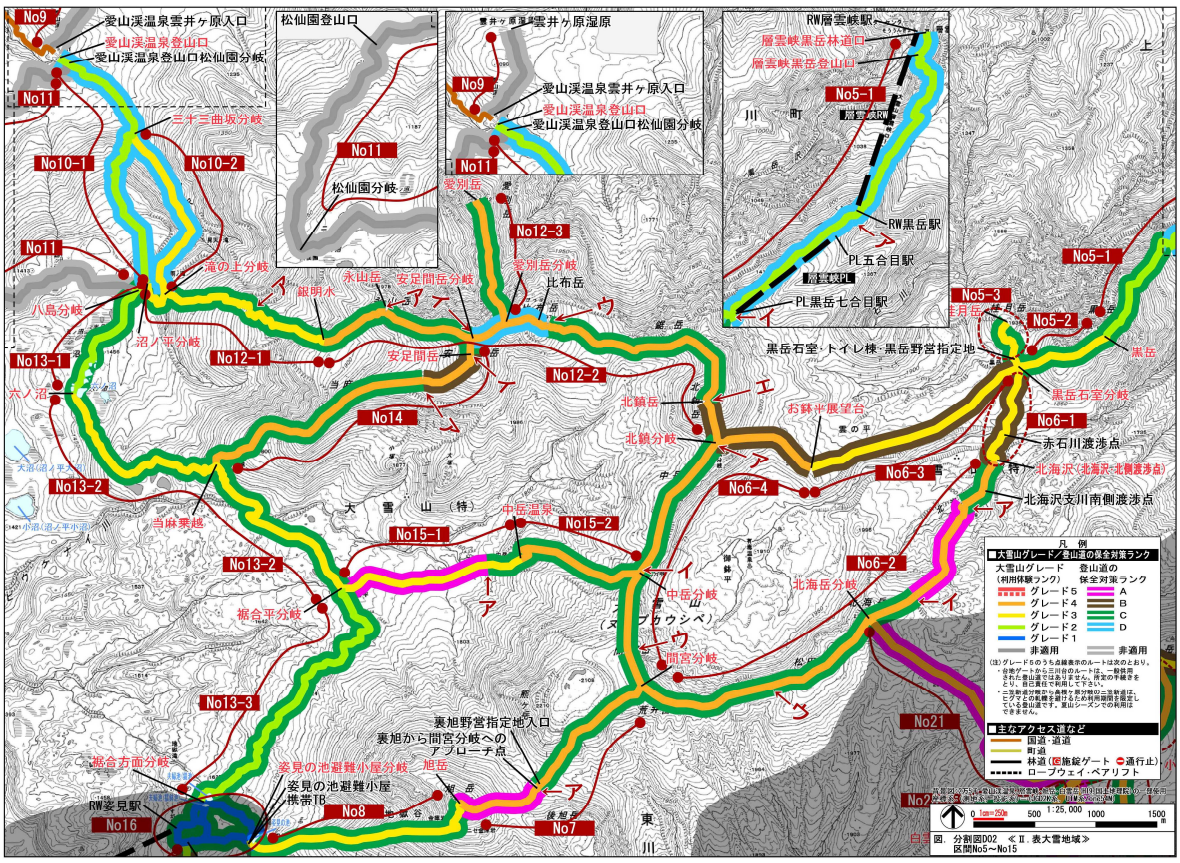
分割図


大雪山グレード(利用体験ランク)
および、登山道の保全対策ランク
分 割 図
0
5
10km
D01
D02
D03
D04
D05
D06
D07
D08
D09
D10
D11
D12
D13
D14
D15
東 川 町
上 川 町
美 瑛 町
上富良野町
富良野市
南富良野町
新 得 町
上士幌町
鹿 追 町
士 幌 町

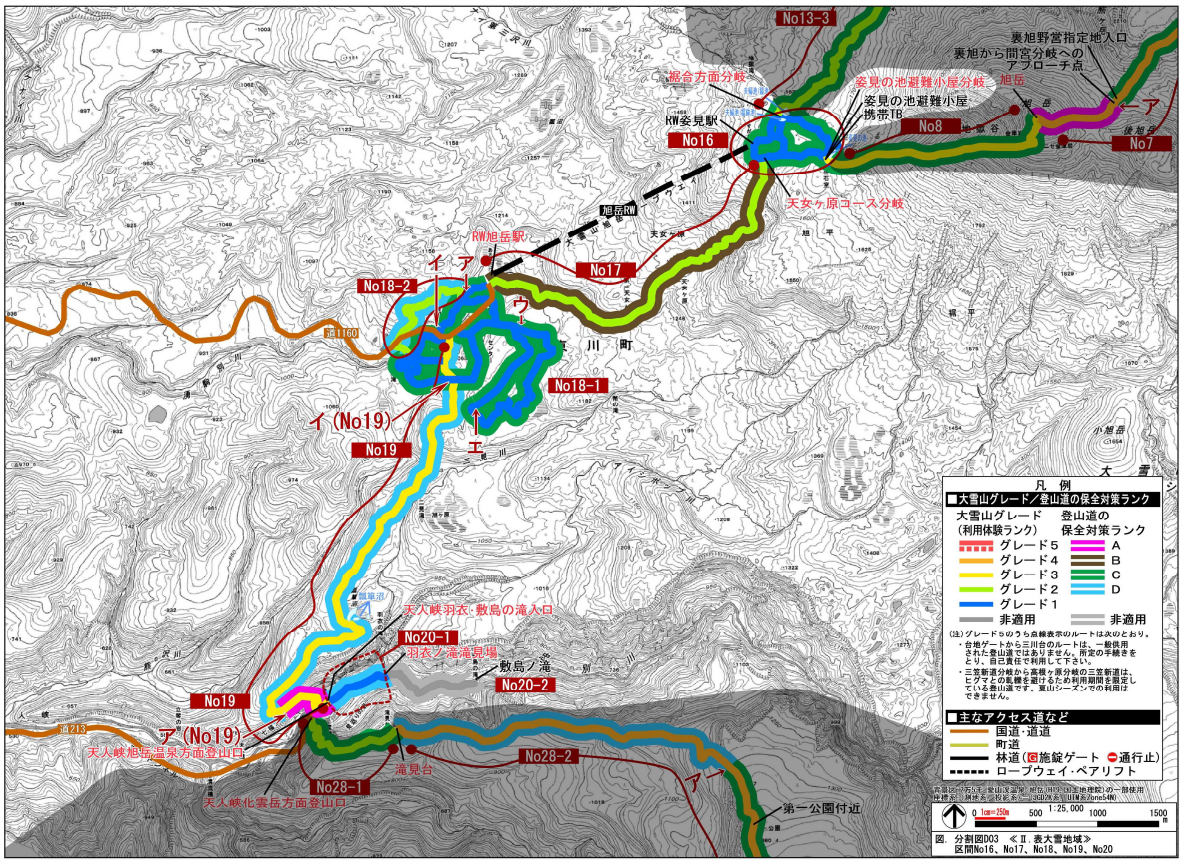
DO1


No1
古金砂金越ゲート（図上北方）
治山作業道（一古越砂金越林道[古越砂金越ゲート]一上川町道一国273）
ニセイカウシュッペ山登山口駐車場
ニセイカウシュッペ山登山口
ニセイカウシュッペ山
凡　例
■大雪山グレード／登山道の保全対策ランク
大雪山グレード（利用体験ランク）　登山道の保全対策ランク
グレード５　A
グレード４　B
グレード３　C
グレード２　D
グレード１
非適用　非適用
■主なアクセス道など
国道・道道
町道
林道（施錠ゲート　通行止）
ロープウェイ・ペアリフト
朝陽山
ハノラマ台分岐
No2-1
No2-2
ハノラマ台
層雲峡園地
層雲峡温泉
RW層雲峡駅
層雲峡黒岳林道口
層雲峡黒岳登山口
No5-1
紅葉谷広口
クマゲラ広場
オシコ岩
No4
No3
紅葉滝
銀河流星の滝駐車場
双瀑合分岐
上　川　町
国39
国273
図．分割図DO1　≪Ⅰ．北大雪地域≫
区間No1、No2、No3、No4

DO2

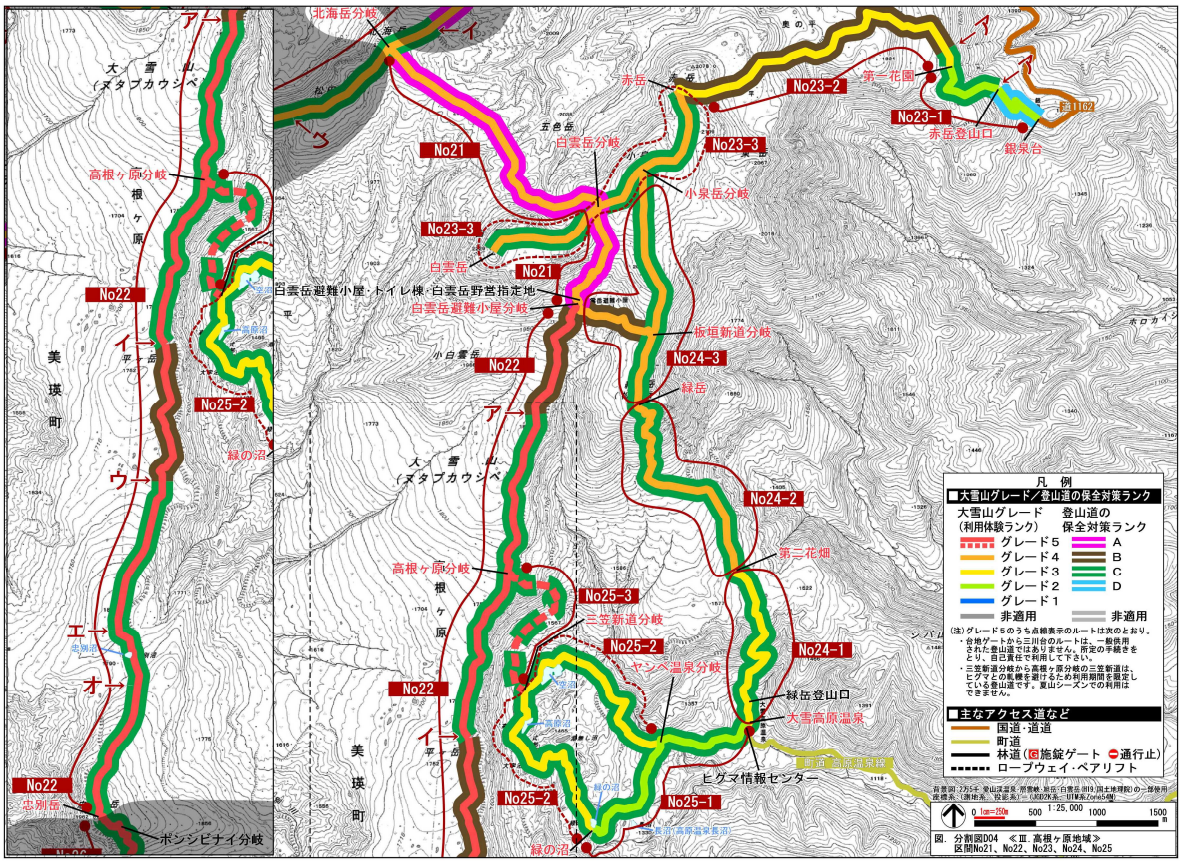

No9
愛山渓温泉雲井ヶ原入口
愛山渓温泉登山口
愛山渓温泉登山口松仙園分岐
No11
三十三曲坂分岐
No10-1
No10-2
滝の上分岐
八島分岐
No13-1
六ノ沼
沼ノ平分岐
No12-1
No13-2
当麻乗越
No14
No15-1
No13-2
裾合平分岐
No13-3
裾合方面分岐
RW姿見駅
No16
姿見の池避難小屋分岐
姿見の池避難小屋
携帯TB
No8
旭岳
裏旭野営指定地入口
裏旭から間宮分岐へのアプローチ点
No7
松仙園登山口
No11
松仙園分岐
雲井ヶ原湿原
No9
愛山渓温泉雲井ヶ原入口
愛山渓温泉登山口
愛山渓温泉登山口松仙園分岐
No11
愛別岳
No12-3
愛別岳分岐
比布岳
銀明水
永山岳
安足間岳分岐
安足間岳
No12-2
No12-3
RW層雲峡駅
層雲峡黒岳林道口
層雲峡黒岳登山口
No5-1
RW黒岳駅
PL五合目駅
PL黒岳七合目駅
No5-3
No5-2
黒岳石室・トイレ棟・黒岳野営指定地
黒岳
黒岳石室分岐
No6-1
赤石川渡渉点
北海沢（北海沢・北鎮渡渉点）
北海沢支川南側渡渉点
No6-3
No6-4
北鎮岳
お鉢平展望台
北鎮分岐
No6-2
北海岳分岐
中岳分岐
中岳温泉
No15-2
間宮分岐
No21
大　雪　山（特）
凡　例
■大雪山グレード／登山道の保全対策ランク
大雪山グレード（利用体験ランク）　登山道の保全対策ランク
グレード５　A
グレード４　B
グレード３　C
グレード２　D
グレード１
非適用　非適用
■主なアクセス道など
国道・道道
町道
林道（施錠ゲート　通行止）
ロープウェイ・ペアリフト
図．分割図DO2　≪Ⅱ．表大雪地域≫
区間No5～No15

D03



No13-3
裏旭野営指定地入口
裏旭から間宮分岐への
アプローチ点
裾合方面分岐
姿見の池避難小屋分岐
旭岳
姿見の池避難小屋
携帯TB
No8
No7
No16
RW姿見駅
天女ヶ原コース分岐
旭岳RW
RW旭岳駅
No17
No18-2
No18-1
No19
イ(No19)
天人峡羽衣・敷島の滝入口
No20-1
羽衣ノ滝滝見場
敷島ノ滝
No20-2
No19
ア(No19)
天人峡旭岳温泉方面登山口
No28-2
滝見台
No28-1
天人峡化雲岳方面登山口
第一公園付近
凡 例
■大雪山グレード／登山道の保全対策ランク
大雪山グレード
(利用体験ランク)
登山道の
保全対策ランク
グレード5
グレード4
グレード3
グレード2
グレード1
非適用
A
B
C
D
非適用
(注)グレード5のうち点線表示のルートは次のとおり。
・台地ゲートから三川台のルートは、一般供用された登山道ではありません。所定の手続きをとり、自己責任で利用して下さい。
・三笠新道分岐から高根ヶ原分岐の三笠新道は、ヒグマとの乱機を避けるため利用期間を限定している登山道です。夏山シーズンでの利用はできません。
■主なアクセス道など
国道・道道
町道
林道(施錠ゲート 通行止)
ロープウェイ・ペアリフト
1:25,000
図. 分割図D03 ≪Ⅱ.表大雪地域≫
区間No16、No17、No18、No19、No20

D04



北海岳分岐
赤岳
No23-2
第一花園
No23-1
赤岳登山口
銀泉台
No21
白雲岳分岐
No23-3
小泉岳分岐
No23-3
白雲岳
No21
白雲岳避難小屋・トイレ棟・白雲岳野営指定地
白雲岳避難小屋分岐
板垣新道分岐
No24-3
緑岳
No22
No25-2
緑の沼
No24-2
第三花畑
高根ヶ原分岐
No25-3
三笠新道分岐
No25-2
ヤンベ温泉分岐
No24-1
緑岳登山口
大雪高原温泉
No22
ヒグマ情報センター
No25-2
No25-1
緑の沼
No22
忠別岳
ポンシビナイ分岐
凡 例
■大雪山グレード／登山道の保全対策ランク
大雪山グレード
(利用体験ランク)
登山道の
保全対策ランク
グレード5
グレード4
グレード3
グレード2
グレード1
非適用
A
B
C
D
非適用
(注)グレード5のうち点線表示のルートは次のとおり。
・台地ゲートから三川台のルートは、一般供用された登山道ではありません。所定の手続きをとり、自己責任で利用して下さい。
・三笠新道分岐から高根ヶ原分岐の三笠新道は、ヒグマとの乱機を避けるため利用期間を限定している登山道です。夏山シーズンでの利用はできません。
■主なアクセス道など
国道・道道
町道
林道(施錠ゲート 通行止)
ロープウェイ・ペアリフト
1:25,000
図. 分割図D04 ≪Ⅲ.高根ヶ原地域≫
区間No21、No22、No23、No24、No25

D05

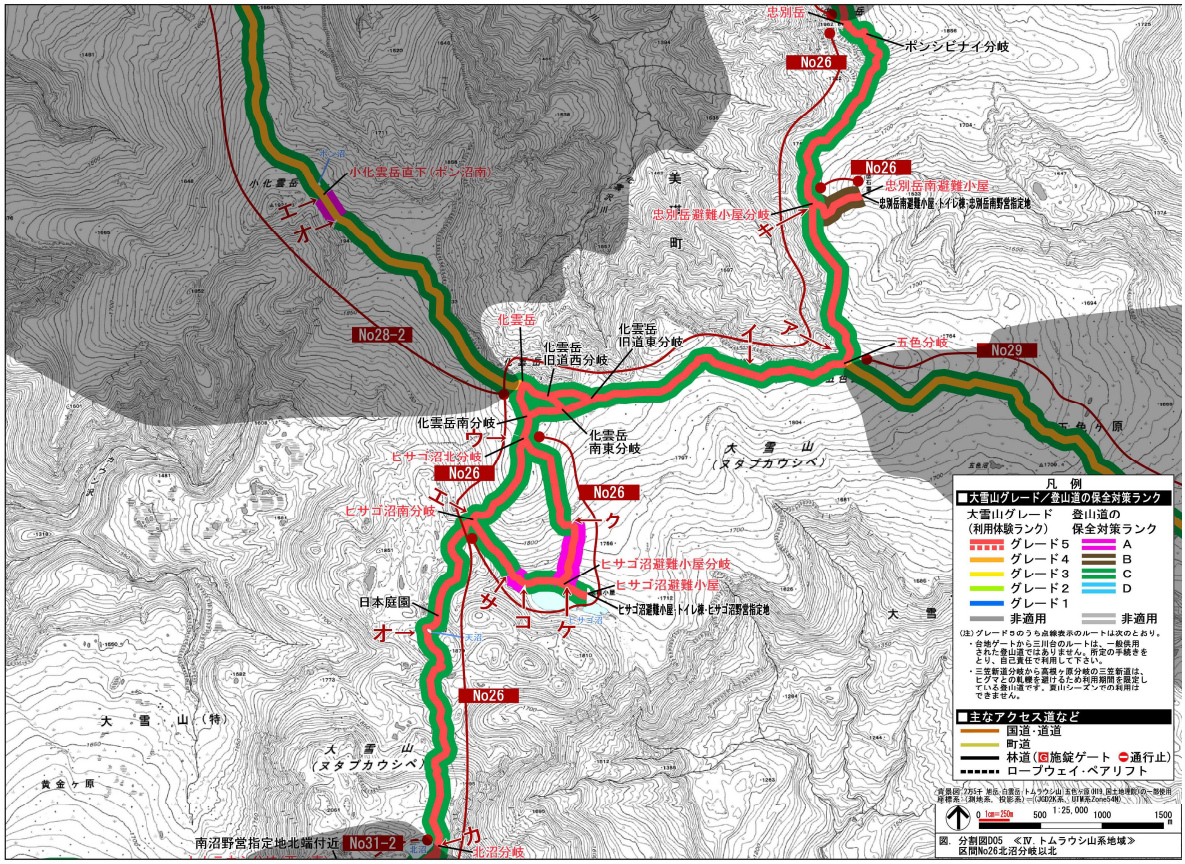


図. 分割図D05 ≪Ⅳ. トムラウシ山系地域≫
区間No26北沼分岐以北

D06

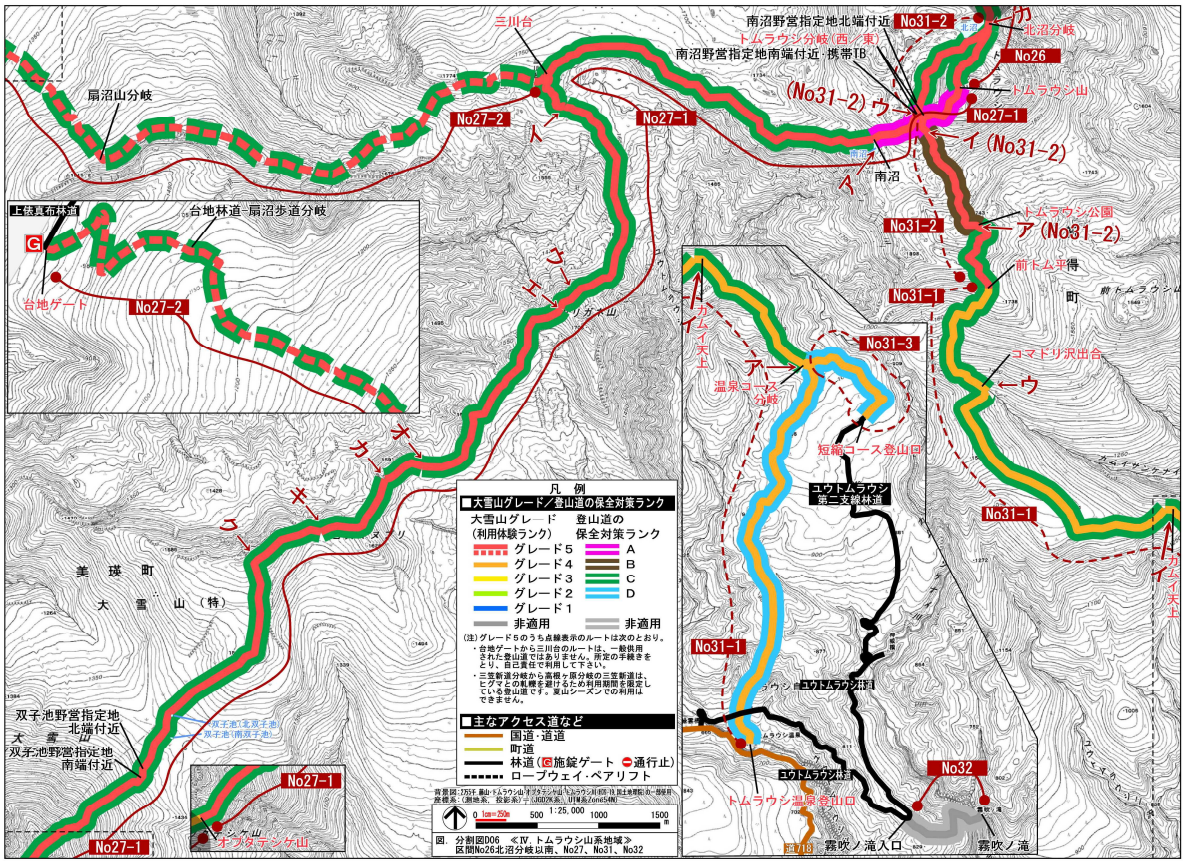
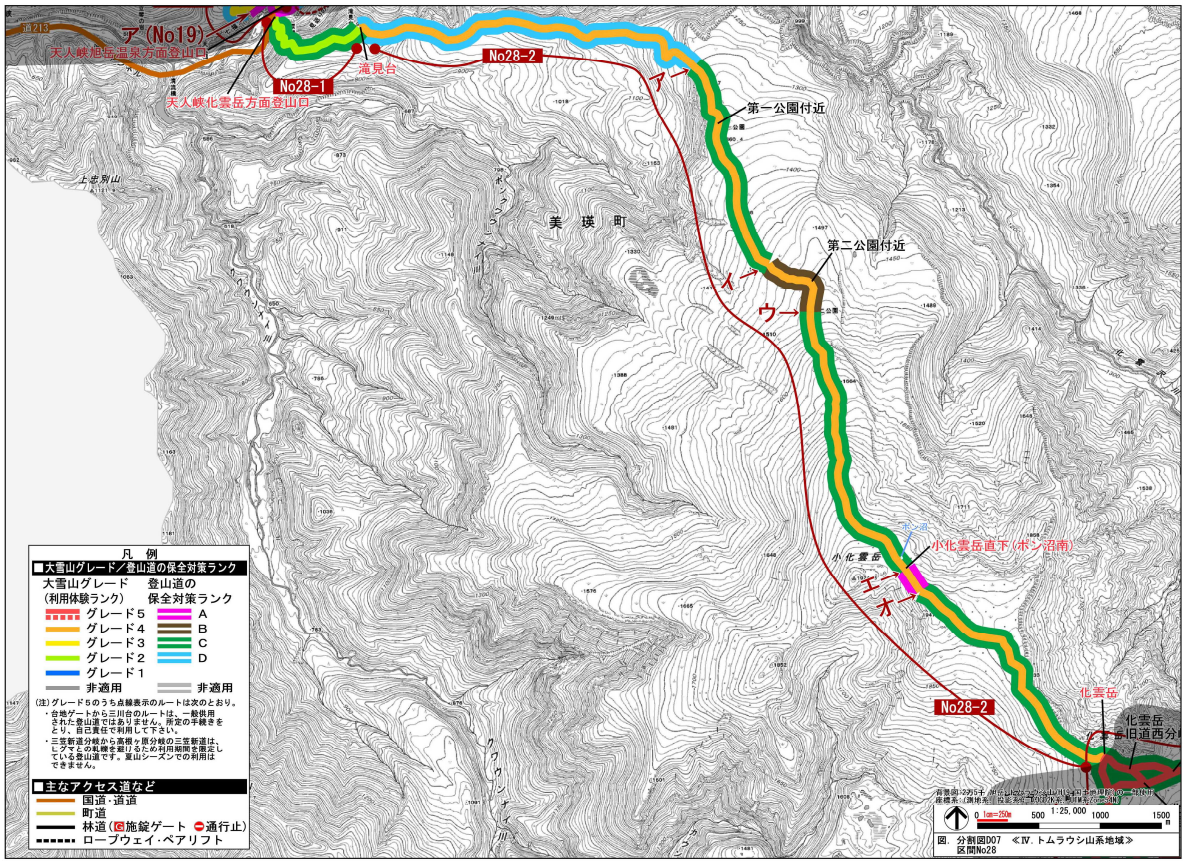
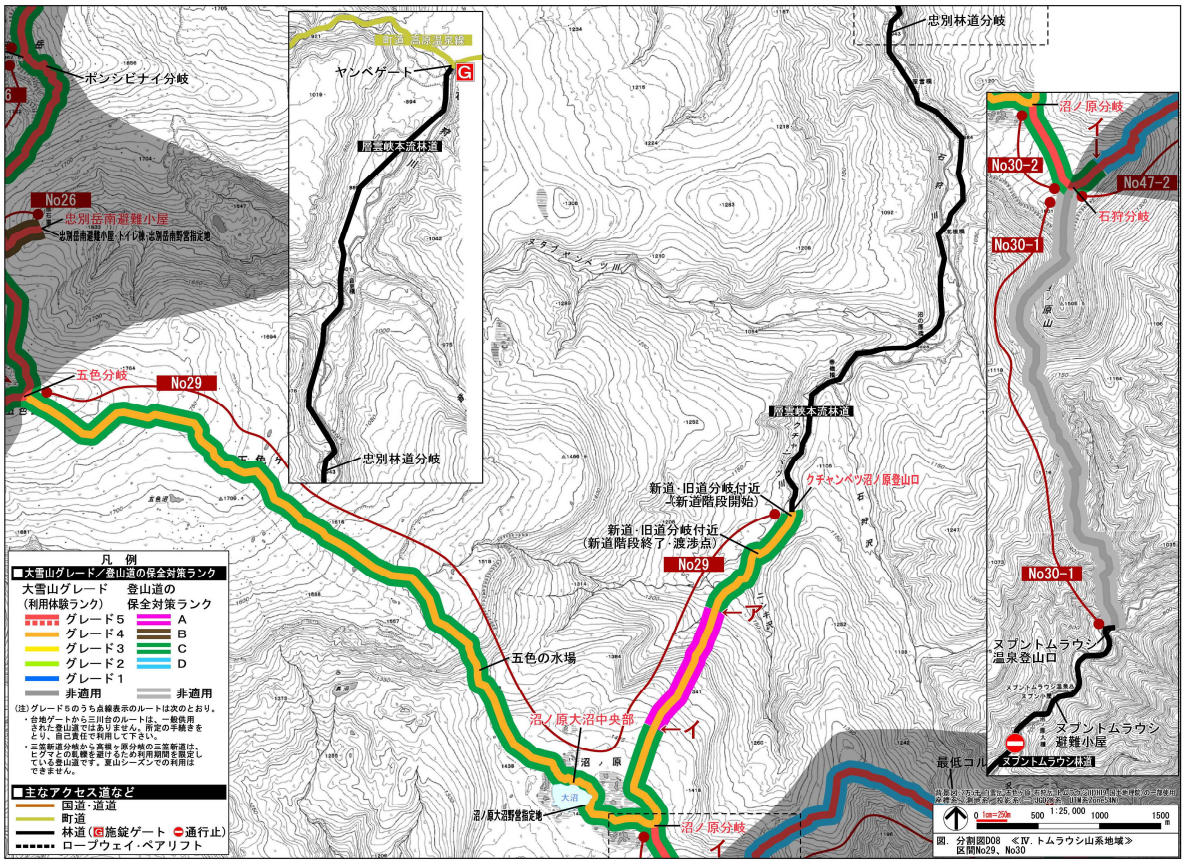


図. 分割図D06 ≪Ⅳ. トムラウシ山系地域≫
区間No26北沼分岐以南、No27、No31、No32

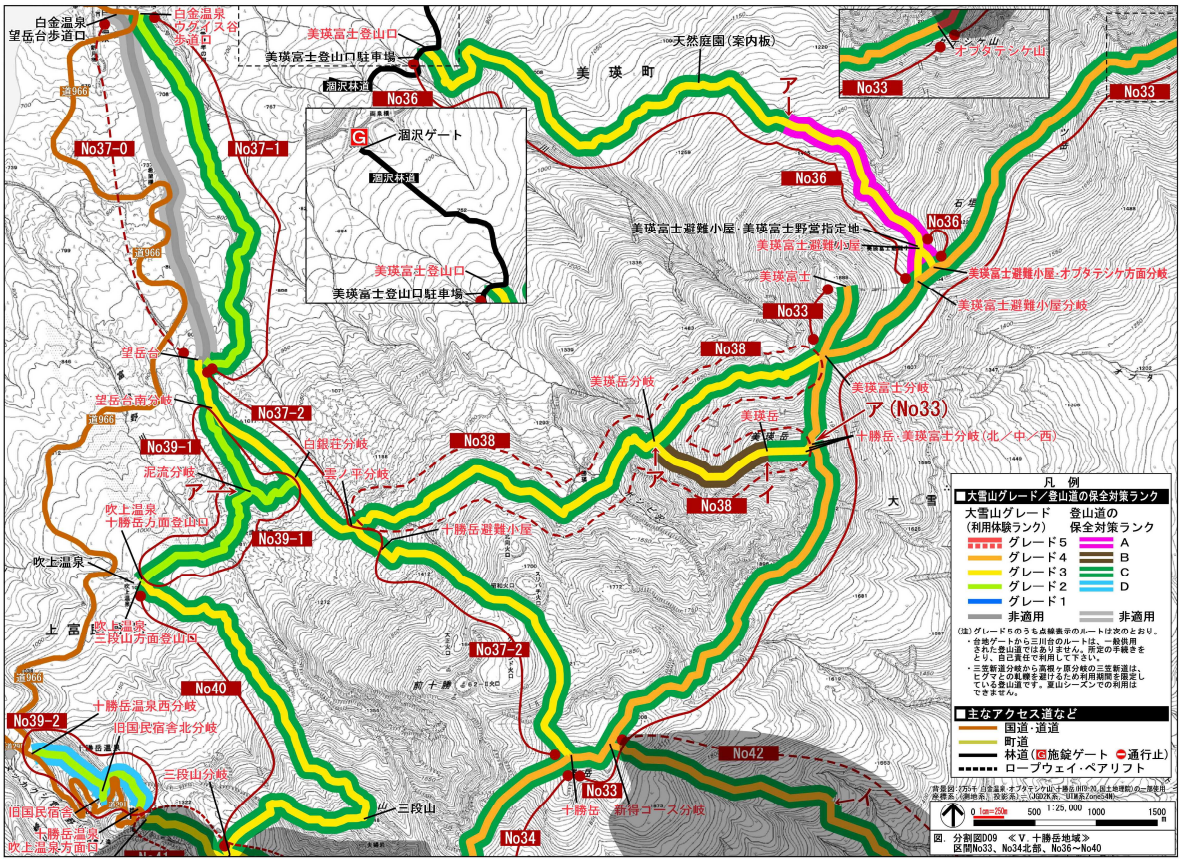
D07


ア（No19）
天人峡旭岳温泉方面登山口
No28-1
天人峡化雲岳方面登山口
滝見台
No28-2
ア
第一公園付近
美瑛町
第二公園付近
イ
ウ
エ
オ
小化雲岳直下（ポンシ沼南）
No28-2
化雲岳
化雲岳旧道西分岐
凡例
■大雪山グレード／登山道の保全対策ランク
大雪山グレード（利用体験ランク）
登山道の保全対策ランク
グレード５ A
グレード４ B
グレード３ C
グレード２ D
グレード１
非適用 非適用
■主なアクセス道など
国道・道道
町道
林道（施錠ゲート 通行止）
ロープウェイ・ペアリフト
図．分割図D07 区間No28
≪Ⅳ．トムラウシ山系地域≫

D08

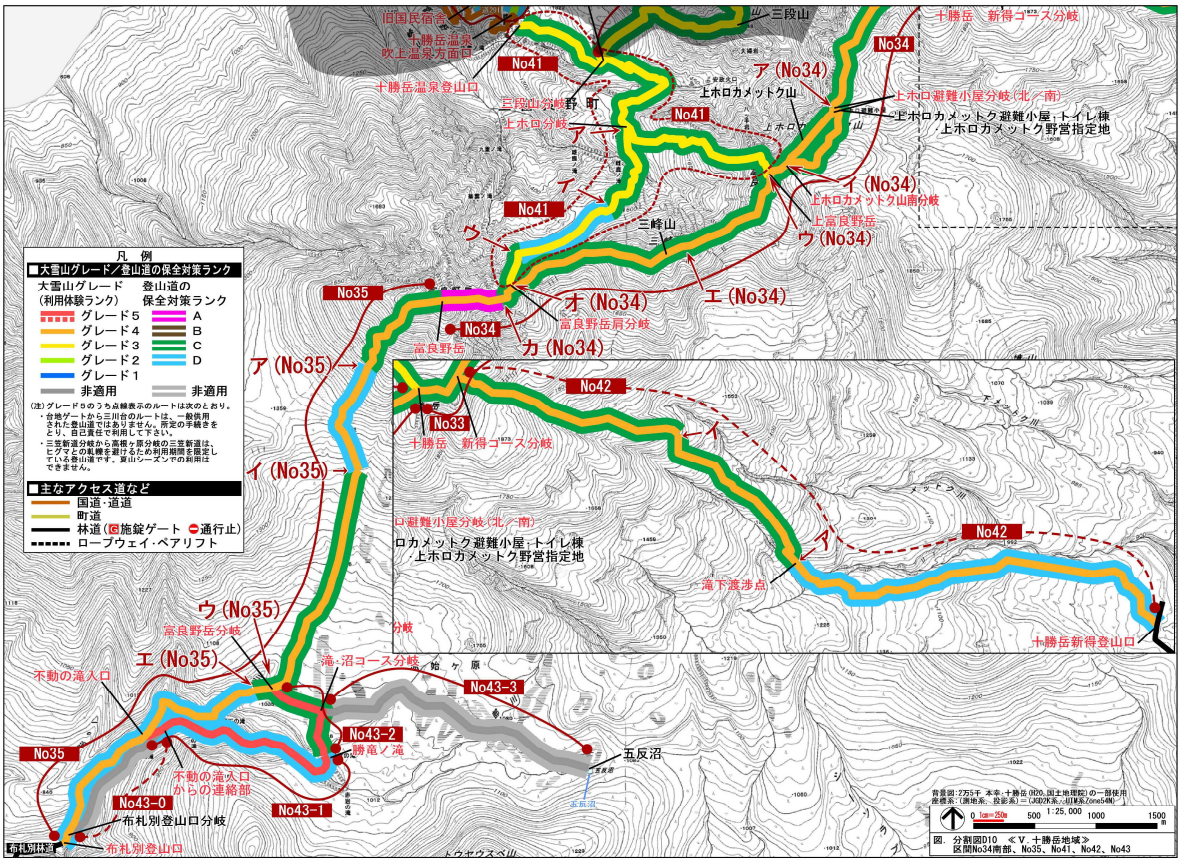

ポンシビナイ分岐
ヤンベゲート
忠別林道分岐
No26
忠別岳南避難小屋
五色分岐
No29
忠別林道分岐
新道・旧道分岐付近（新道階段開始）
新道・旧道分岐付近（新道階段終了・渡渉点）
No29
ア
五色の水場
沼ノ原大沼中央部
イ
沼ノ原
大沼
沼ノ原分岐
イ
クチャンベツ沼ノ原登山口
沼ノ原分岐
イ
No30-2
No47-2
石狩分岐
No30-1
No30-1
ヌプントムラウシ温泉登山口
ヌプントムラウシ避難小屋
最低コル
ヌプントムラウシ
凡例
■大雪山グレード／登山道の保全対策ランク
大雪山グレード（利用体験ランク）
登山道の保全対策ランク
グレード５ A
グレード４ B
グレード３ C
グレード２ D
グレード１
非適用 非適用
■主なアクセス道など
国道・道道
町道
林道（施錠ゲート 通行止）
ロープウェイ・ペアリフト
図．分割図D08 区間No29、No30
≪Ⅳ．トムラウシ山系地域≫

D09



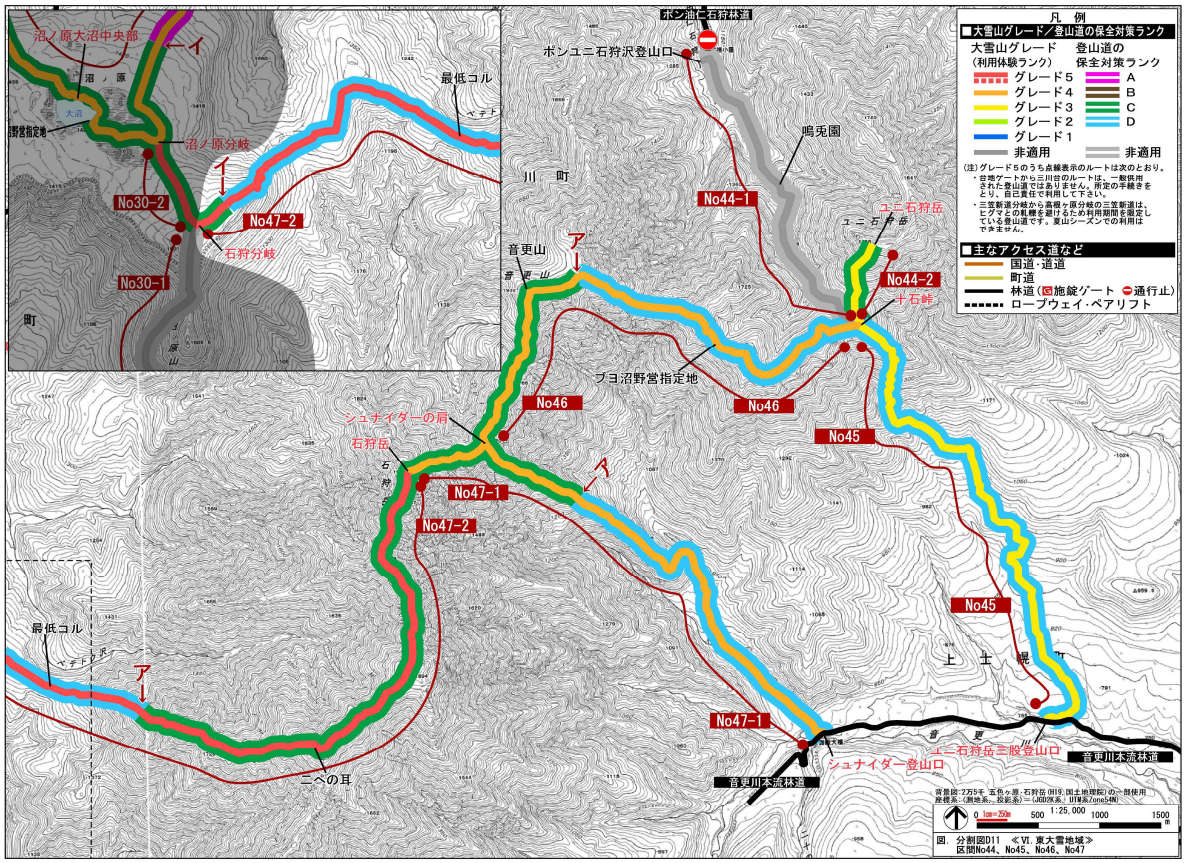
白金温泉
望岳台歩道口
白金温泉
ウダイス谷
歩道口
美瑛富士登山口
美瑛富士登山口駐車場
涸沢林道
No36
天然庭園(案内板)
美 瑛 町
No33
オプタテシケ山
No37-0
No37-1
涸沢ゲート
美瑛富士登山口
美瑛富士登山口駐車場
No36
美瑛富士避難小屋・美瑛富士野営指定地
美瑛富士避難小屋
美瑛富士避難小屋・オプタテシケ方面分岐
美瑛富士避難小屋分岐
美瑛富士
No33
No38
望岳台
望岳台南分岐
No37-2
No39-1
白銀荘分岐
雲ノ平分岐
美瑛岳分岐
美瑛富士分岐
ア(No33)
十勝岳・美瑛富士分岐(北／中／西)
美瑛岳
泥流分岐
吹上温泉
十勝岳方面登山口
十勝岳避難小屋
No38
No39-1
吹上温泉
上 富
吹上温泉
三段山方面登山口
No37-2
No40
十勝岳温泉西分岐
No39-2
旧国民宿舎北分岐
三段山分岐
旧国民宿舎
十勝岳温泉
吹上温泉方面口
三段山
No42
No33
十勝岳 新得コース分岐
No34
凡 例
■大雪山グレード／登山道の保全対策ランク
大雪山グレード
(利用体験ランク)
グレード5
グレード4
グレード3
グレード2
グレード1
非適用
登山道の
保全対策ランク
A
B
C
D
非適用
(注)グレード5のうち点線表示のルートは次のとおり。
・台地ゲートから三川台のルートは、一般供用された登山道ではありません。所定の手続きをとり、自己責任で利用して下さい。
・三笠新道分岐から高根ヶ原分岐の三笠新道は、ヒグマとの軋轢を避けるため利用期間を限定している登山道です。夏山シーズンでの利用はできません。
■主なアクセス道など
国道・道道
町道
林道(G施錠ゲート ⊖通行止)
ロープウェイ・ペアリフト
1:25,000
図. 分割図D09 ≪V.十勝岳地域≫
区間No33、No34北部、No36～No40

D10



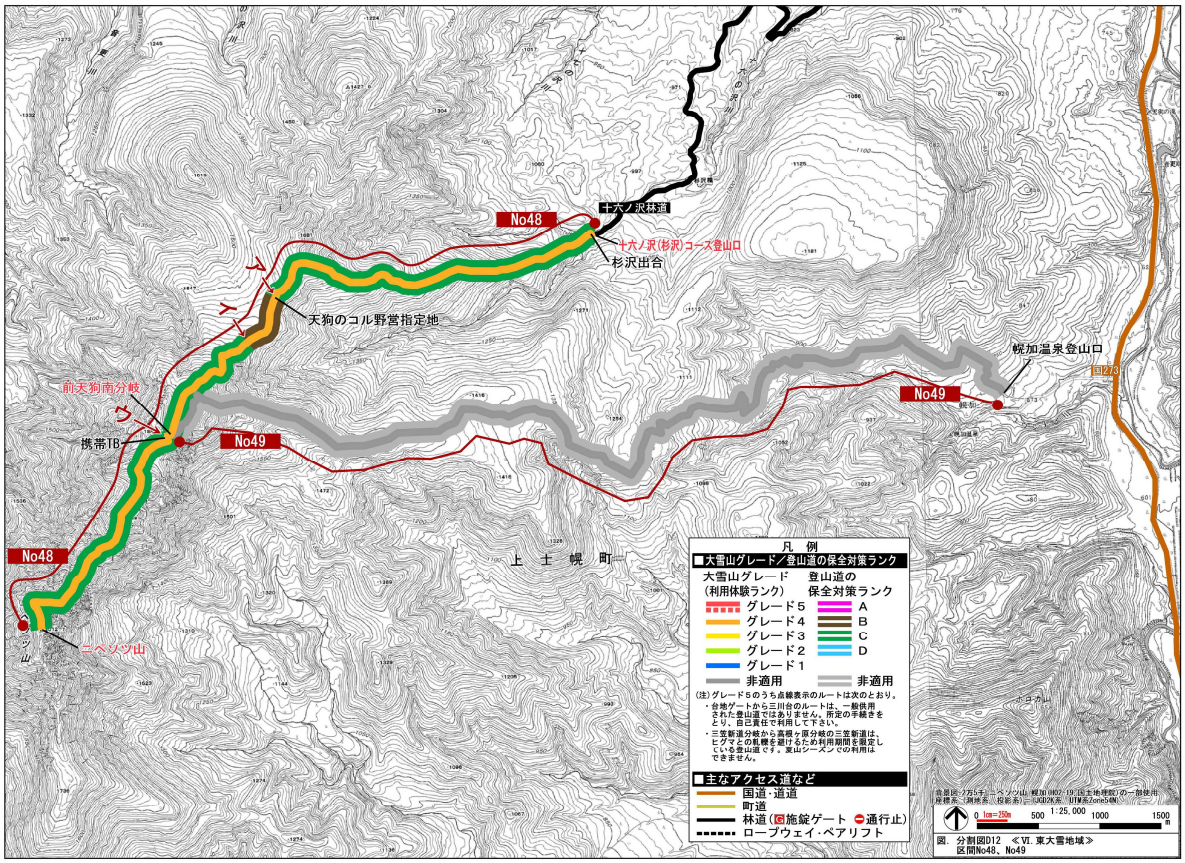
旧国民宿舎
十勝岳温泉
吹上温泉方面口
三段山
十勝岳 新得コース分岐
No34
No41
十勝岳温泉登山口
ア(No34)
上ホロカメットク山
上ホロ避難小屋分岐(北／南)
上ホロカメットク避難小屋・トイレ棟
・上ホロカメットク野営指定地
三段山分岐
上ホロ分岐
No41
イ(No34)
上ホロカメットク山南分岐
上富良野岳
ウ(No34)
三峰山
No41
No35
オ(No34)
エ(No34)
富良野岳肩分岐
No34
カ(No34)
富良野岳
ア(No35)
No42
No33
十勝岳 新得コース分岐
イ(No35)
ロ避難小屋分岐(北／南)
ロカメットク避難小屋・トイレ棟
・上ホロカメットク野営指定地
No42
滝下渡渉点
十勝岳新得登山口
ウ(No35)
富良野岳分岐
エ(No35)
不動の滝入口
滝・沼コース分岐
No43-3
No43-2
勝竜ノ滝
五反沼
No35
不動の滝入口
からの連絡部
No43-0
No43-1
布札別登山口分岐
布札別林道
布札別登山口
凡 例
■大雪山グレード／登山道の保全対策ランク
大雪山グレード
(利用体験ランク)
グレード5
グレード4
グレード3
グレード2
グレード1
非適用
登山道の
保全対策ランク
A
B
C
D
非適用
(注)グレード5のうち点線表示のルートは次のとおり。
・台地ゲートから三川台のルートは、一般供用された登山道ではありません。所定の手続きをとり、自己責任で利用して下さい。
・三笠新道分岐から高根ヶ原分岐の三笠新道は、ヒグマとの軋轢を避けるため利用期間を限定している登山道です。夏山シーズンでの利用はできません。
■主なアクセス道など
国道・道道
町道
林道(G施錠ゲート ⊖通行止)
ロープウェイ・ペアリフト
1:25,000
図. 分割図D10 ≪V.十勝岳地域≫
区間No34南部、No35、No41、No42、No43

D１１



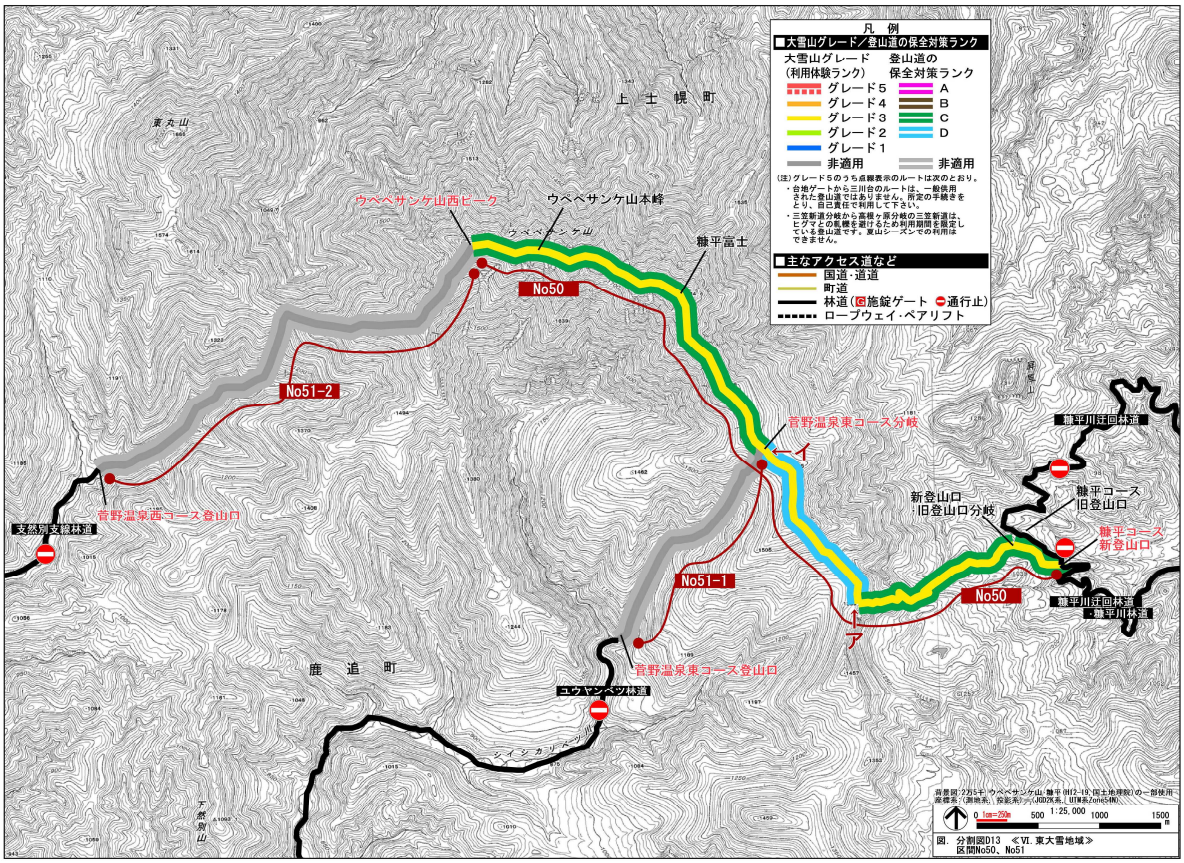
凡　例
■大雪山グレード／登山道の保全対策ランク
大雪山グレード（利用体験ランク）
登山道の保全対策ランク
グレード５
グレード４
グレード３
グレード２
グレード１
非適用
A
B
C
D
非適用
(注)グレード５のうち点線表示のルートは次のとおり。
・台地ゲートから三川台のルートは、一般供用された登山道ではありません。所定の手続きをとり、自己責任で利用して下さい。
・三笠新道分岐から高根ヶ原分岐の三笠新道は、ヒグマとの軋轢を避けるため利用期間を限定している登山道です。夏山シーズンでの利用はできません。
■主なアクセス道など
国道・道道
町道
林道（施錠ゲート　通行止）
ロープウェイ・ペアリフト
沼ノ原大沼中央部
沼ノ原分岐
石狩分岐
No30-2
No30-1
No47-2
最低コル
ポンユニ石狩沢登山口
ポン油ニ石狩林道
鳴兎園
No44-1
ユニ石狩岳
No44-2
十石峠
音更山
ブヨ沼野営指定地
No46
No45
シュナイダーの肩
石狩岳
No47-1
No47-2
最低コル
二ペの耳
上　士　幌　町
ユニ石狩岳三股登山口
音更川本流林道
シュナイダー登山口
1:25,000
図．分割図D11　≪Ⅵ．東大雪地域≫
区間No44、No45、No46、No47

D１２

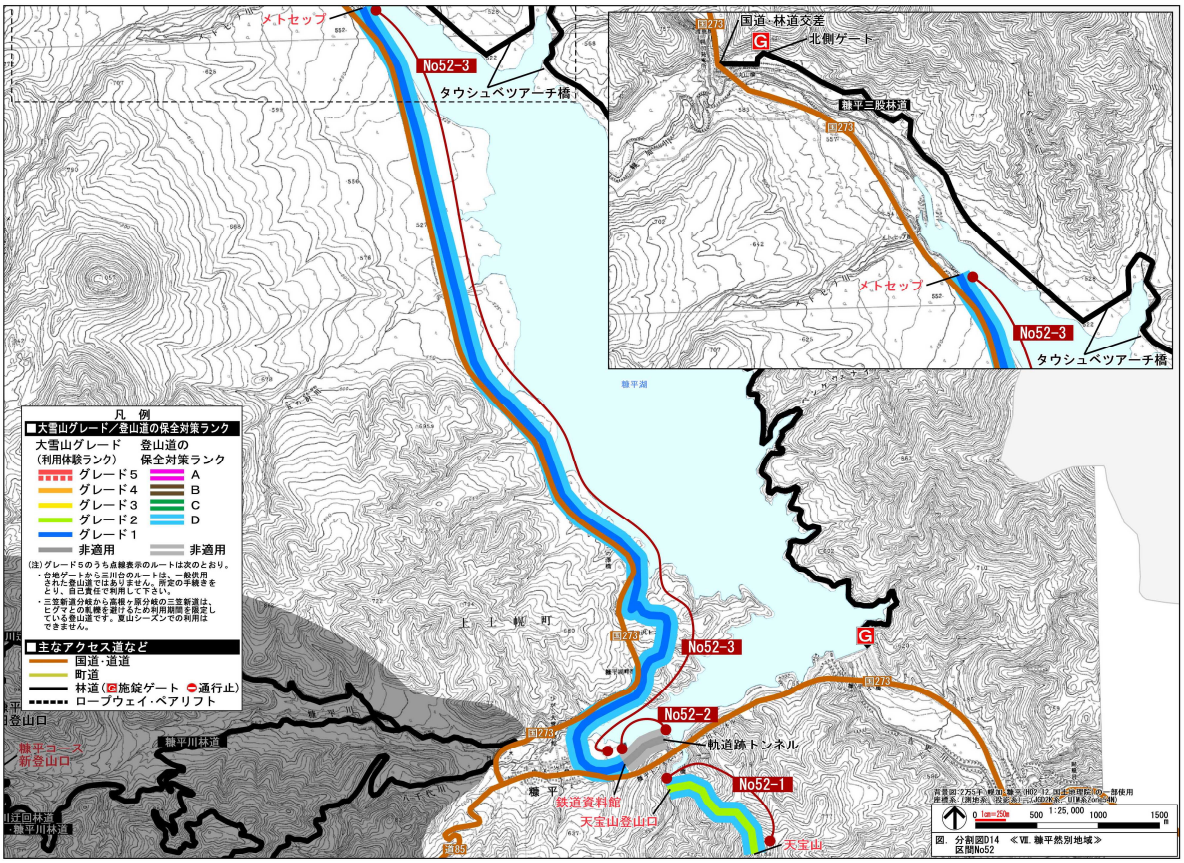


十六ノ沢林道
No48
十六ノ沢(杉沢)コース登山口
杉沢出合
天狗のコル野営指定地
前天狗南分岐
携帯TB
No49
幌加温泉登山口
No48
二ペソツ山
上　士　幌　町
凡　例
■大雪山グレード／登山道の保全対策ランク
大雪山グレード（利用体験ランク）
登山道の保全対策ランク
グレード５
グレード４
グレード３
グレード２
グレード１
非適用
A
B
C
D
非適用
(注)グレード５のうち点線表示のルートは次のとおり。
・台地ゲートから三川台のルートは、一般供用された登山道ではありません。所定の手続きをとり、自己責任で利用して下さい。
・三笠新道分岐から高根ヶ原分岐の三笠新道は、ヒグマとの軋轢を避けるため利用期間を限定している登山道です。夏山シーズンでの利用はできません。
■主なアクセス道など
国道・道道
町道
林道（施錠ゲート　通行止）
ロープウェイ・ペアリフト
1:25,000
図．分割図D12　≪Ⅵ．東大雪地域≫
区間No48、No49

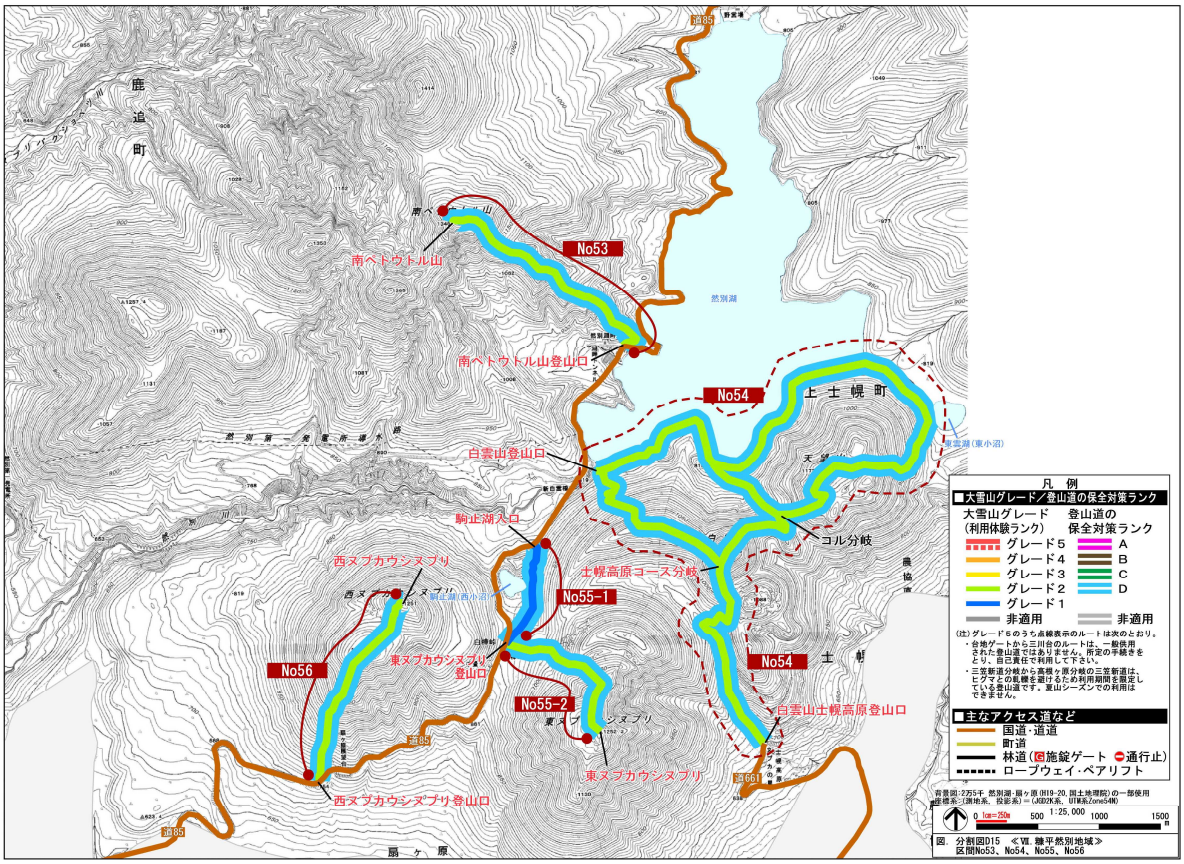
D13


凡　例
■大雪山グレード／登山道の保全対策ランク
大雪山グレード（利用体験ランク）
登山道の保全対策ランク
グレード5
グレード4
グレード3
グレード2
グレード1
非適用
A
B
C
D
非適用
(注)グレード5のうち点線表示のルートは次のとおり。
・台地ゲートから三川台のルートは、一般供用された登山道ではありません。所定の手続きをとり、自己責任で利用して下さい。
・三笠新道分岐から高根ヶ原分岐の三笠新道は、ヒグマとの軋轢を避けるため利用期間を限定している登山道です。夏山シーズンでの利用はできません。
■主なアクセス道など
国道・道道
町道
林道（G施錠ゲート　通行止）
ロープウェイ・ペアリフト
上　士　幌　町
東丸山
ウペペサンケ山西ピーク
ウペペサンケ山本峰
ウペペサンケ山
糠平富士
No50
No51-2
菅野温泉東コース分岐
ーイ
菅野温泉西コース登山口
支然別支線林道
糠平川迂回林道
新登山口
旧登山口分岐
糠平コース
旧登山口
糠平コース
新登山口
No51-1
No50
糠平川迂回林道
・糠平川林道
ア
菅野温泉東コース登山口
鹿　追　町
ユウヤンベツ林道
シイシカリベツ川
下然別山
1:25,000
図．分割図D13　≪Ⅵ．東大雪地域≫
区間No50、No51

D14


メトセップ
No52-3
タウシュベツアーチ橋
国道・林道交差
北側ゲート
糠平三股林道
メトセップ
No52-3
タウシュベツアーチ橋
凡　例
■大雪山グレード／登山道の保全対策ランク
大雪山グレード（利用体験ランク）
登山道の保全対策ランク
グレード5
グレード4
グレード3
グレード2
グレード1
非適用
A
B
C
D
非適用
(注)グレード5のうち点線表示のルートは次のとおり。
・台地ゲートから三川台のルートは、一般供用された登山道ではありません。所定の手続きをとり、自己責任で利用して下さい。
・三笠新道分岐から高根ヶ原分岐の三笠新道は、ヒグマとの軋轢を避けるため利用期間を限定している登山道です。夏山シーズンでの利用はできません。
■主なアクセス道など
国道・道道
町道
林道（G施錠ゲート　通行止）
ロープウェイ・ペアリフト
上　士　幌　町
No52-3
No52-2
軌道跡トンネル
糠平
鉄道資料館
天宝山登山口
No52-1
天宝山
糠平川林道
糠平コース
新登山口
1:25,000
図．分割図D14　≪Ⅶ．糠平然別地域≫
区間No52

D15



鹿追町
南ペトウトル山
No53
南ペトウトル山登山口
No54
上士幌町
白雲山登山口
駒止湖入口
西ヌプカウシヌプリ
士幌高原コース分岐
No55-1
コル分岐
No56
東ヌプカウシヌプリ登山口
No55-2
東ヌプカウシヌプリ
白雲山士幌高原登山口
西ヌプカウシヌプリ登山口
扇ヶ原
凡例
■大雪山グレード／登山道の保全対策ランク
大雪山グレード（利用体験ランク）
登山道の保全対策ランク
グレード5
グレード4
グレード3
グレード2
グレード1
非適用
A
B
C
D
非適用
(注)グレード5のうち点線表示のルートは次のとおり。
・台地ゲートから三川台のルートは、一般供用された登山道ではありません。所定の手続きをとり、自己責任で利用して下さい。
・三笠新道分岐から高根ヶ原分岐の三笠新道は、ヒグマとの乱棲を避けるため利用期間を限定している登山道です。夏山シーズンでの利用はできません。
■主なアクセス道など
国道・道道
町道
林道（施錠ゲート 通行止）
ロープウェイ・ペアリフト
1:25,000
0 1cm=250m 500 1000 1500 m
図. 分割図D15 ≪Ⅷ.糠平然別地域≫
区間No53、No54、No55、No56

登山道補修ノート

記入しない		
記入しない □ └□	備考	記入しない

修復路線/地点：　　保全対策ランク

利用体験ランク/大雪山グレード

修復目標	記録日：
	作業日：

記録者：

登山道補修ノート

記入しない		
記入しない □ └□	備考	記入しない

修復路線/地点：　　保全対策ランク

利用体験ランク/大雪山グレード

修復目標	記録日：
	作業日：

記録者：